MITSUBISHI

三菱ワイド液晶ディスプレイ

Diamondcrysta Color
RDT242WH(GY)
(AP134)

取扱説明書

P2 もくじ

P3 ご使用の前に

P6 安全のために必ずお守りください

P10 使用上のお願い

P12 各部のはたらき

P16 使用の準備

P30 機能

P50 困ったとき

P58 付録

HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

■ この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全のために必ずお守りください」は、液晶ディスプレイをご使用の前に必ず読んで正しくお使いください。
■ 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
■ この取扱説明書は「保証書」と共に大切に保存してください。
■ 必ず転倒・落下防止処置を実施してください。
→ P8, P59 を参照

「ディスプレイ」のウェブサイト : www.MitsubishiElectric.co.jp/display
INTERNET INFORMATION & DOWNLOADS SERVICE

製品登録のご案内

三菱電機では、ウェブサイト でのアンケート にお答えいただくとお客様に役立つ各種サービスをウェブサイト にて利用できる「製品登録サービス」を実施しております。
詳しくはこちらをご覧ください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/mypage

【個人のお客様】PCリサイクルマーク申込のご案内

ご注意:法人でご購入いただいた製品は無償提供の対象外です。

個人でディスプレイをご購入いただいたお客様には、無償で「PCリサイクルマーク」を提供しております。
ご購入後、お早めに下記のリサイクル窓口ウェブサイトからお申し込みください。（画面の PCリサイクルマーク申込 からお入りください。）

www.pc-eco.jp

もくじ

ご使用の前に

ご使用の前に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
何ができるの？ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
付属品の確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
別売オプション ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
本書の見かた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

安全のために必ずお守りください

安全のために必ずお守りください ・・・・・・・・・・・ 6

使用上のお願い

使用上のお願い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
液晶ディスプレイの上手な使い方 ・・・・・・・・・・・・・11

各部のはたらき

各部のはたらき ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
本体正面 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
本体背面／側面 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
リモコン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
リモコンの取り扱い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

使用の準備

使用の準備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
使用するための流れ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
[準備 1]　ディスプレイとコンピューターを接続する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
1 台のコンピューターを接続 ・・・・・・・・・・・・・・・・17
2 台のコンピューターを接続 ・・・・・・・・・・・・・・・・18
3 ～ 4 台のコンピューターを接続 ・・・・・・・・・・・・18
コンピューターの音声出力端子と接続 ・・・・・・・・・20
[準備 2]　ディスプレイと AV 機器やデジタルカメラを接続する ・・・・・・20
HDMI 出力に対応した AV 機器やデジタルカメラに接続 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
[準備 3]　ディスプレイとコンピューターを USB ケーブルで接続する ・・・・・・・21
[準備 4]　電源コードを本機に接続する ・・・・21
[準備 5]　ケーブルをまとめる ・・・・・・・・・・・・22
[準備 6]　電源プラグのアース線を接続する・・23
[準備 7]　電源プラグを AC100 V 電源コンセントに接続する ・・・・・・23
[準備 8]　設置する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
[準備 9]　画面の高さおよび角度を調節する・・24
[準備 10] 縦型表示にする / 横型表示にする・・24
[準備 11] ヘッドホンを接続する ・・・・・・・・・・25
ヘッドホンと接続 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
[準備 12] かんたんセットアップ！ ・・・・・・・・26
[準備 13] 画面調節 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
Windows® セットアップ情報 ・・・・・・・・・・・・・・・27
解像度を 1920 x 1200 に設定、確認する・・・27
自動調節をする（アナログ接続のときのみ）・・・・28
[準備 14] 付属ユーティリティーディスクのソフトウェアをインストールする ・・29
EASYCOLOR ! EXPERT2 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・29

機能

機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
OSD 画面の構成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
OSD の基本操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31
グループの構成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
OSD 機能一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
工場プリセットタイミング（PC 信号）・・・・・・・・46
その他の機能について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・47

困ったとき

困ったとき ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・50
故障かな？と思ったら ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・50
本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報）・・56
保証とアフターサービス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・57
個人情報の取り扱い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・57

付録

付録 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・58
市販のアームを取り付けるとき ・・・・・・・・・・・・・・58
用語解説 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・60
仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・62
さくいん ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・63

ご使用の前に

何ができるの？

高精度なディスプレイキャリブレーションが可能

EASYCOLOR！EXPERT2 → P29

初心者からプロまで使いこなせる、独自のキャリブレーションソフトウェアを付属

■ ハードウェアキャリブレーションに対応。キャリブレーションセンサーがなくても、センサーを使った場合と同じように詳細な調節ができます。

■ 付属の「トーンカーブエディター」を使って、プリント用紙の階調特性を画面上にシミュレーションすることができます。

■ 画像データの色域分布を確認できる「画像と色域の表示」や、環境光を測定し、演色性を簡易的に評価できる「環境光診断」も付属しています。

高品位液晶パネル

IPS 方式液晶パネル搭載 → P62

画面の“ギラギラ”や“ザラツキ”感が少ない IPS 方式液晶パネルを採用

■作業環境に合わせた輝度調節が可能

正確なカラーマッチングのためには、作業環境の照度に合わせた輝度での表示が必要です。また、高輝度表示での長時間作業は疲労につながります。更に、70 cd/m² の低輝度設定を実現。14 ビットの内部処理により、低輝度時もなめらかな階調表現が得られます。

■ Adobe® RGB 比約 108%

色再現性を徹底して追求し、Adobe®RGB の面積比で約 108%の広大な色域を実現（カバー率では約 98%)。高品位プリンターやデジタル一眼レフカメラなど、Adobe®RGB の色域を含む入力・出力デバイスの色再現に対応します。DTP や写真・印刷分野でのカラーマネージメント環境を整えることができます。

輝度や色の表示ムラを改善したい

ムラ補正機能 → P42

液晶パネルの輝度ムラや色ムラを工場で 1 台 1 台測定し、その測定結果を元に、画面上の輝度と色が均一になるよう補正するムラ補正機能を搭載。画面全体で表示品質を向上します。

多彩な入力端子を装備

＜ PC 接続＞ → P13, P17 ～ P19

DVI-I 入力端子（デジタル／アナログ接続)、DVI-D 入力端子（デジタル接続)、HDMI 入力端子（デジタル接続)、DisplayPort 入力端子 (デジタル接続)、および 1 系統のミニジャック（音声接続）を装備しています。

＜ AV 接続＞

HDMI 入力端子装備 → P13, P20

AV 機器を付属の HDMI ケーブルで接続することができます。また、カメラで撮影した動画もダイレクトに接続でき大画面で楽しむことができます。

＜ USB 接続＞

便利な USB ハブを装備 → P13, P21

アップストリーム 2 ポート、ダウンストリーム 3 ポートの USB2.0 対応ハブを装備。USB アップストリームを切り換えて、2 台のパソコンでキーボードやマウスを共有して使用できます。

使用環境に合わせて映像モードを設定したい

かんたんセットアップ！ → P26

内蔵のカラーセンサーを使って、環境光を測定して使用環境応じた設定をディスプレイに自動設定します。

コンテンツに合わせて色域を切り換え可能

色域制限機能 → P48

ボタン 1 つで Web や映像に適した色域に変換

Adobe®RGB 対応ディスプレイで Web や映像を表示すると、赤や緑が強調されてしまいます。本機では、本体前面の「戻る／色域制限」ボタンかリモコンの「色域制限」ボタンを押すだけで、sRGB や BT.709 相当の色域へ簡単に変換できます。

コンピューター画面で作業しながらテレビやビデオを視聴したい

2 画面表示機能 → P40

親画面の中に子画面を表示する PinP 機能と、親画面と子画面を左右に並べて表示する PbyP 機能の 2 種類の 2 画面表示機能を搭載しています。PinP 機能により、コンピューター画面の中にビデオ画面を表示したり、ビデオ画面の中にコンピューター画面を表示したりすることができます。また、PbyP 機能により、コンピューター画面とビデオ画面を左右に並べて表示することもできます。DVI-I（デジタル）入力と HDMI 入力の組み合わせばかりでなく、同一入力の組み合わせも可能で、異なる映像モードを親子独立して設定できるので、キャリブレーション前後の比較などに使用できます。

精緻な階調表現力を生かした 、高精度なガンマ補正

14 ビットガンマ機能 → P60

RGB 各色 1024 階調（DisplayPort 10 bit 入力）の映像信号を、14 ビットに多階調化した LUT（Look Up Table）で補正。これにより、約 4 兆 3859 億色のパレットからガンマカーブに適した約 10 億 7374 万色を表示します。階調飛びを抑えて、なめらかなグラデーションを得ることができます。

リモコンによる簡単操作

リモコン付属 → P14

付属のリモコンでディスプレイを簡単に操作することができます。

スタンド調節機能

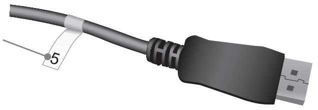
見やすいアングルを簡単設定 → P24

独自の機構により、チルト角度と高さ調節を柔軟におこなえ、使用環境や作業内容に適したアングルが得られます。
また、ローテーション機能を備え、画面を 90° 回転させてタテ形での表示が可能です。

付属品の確認

お買い上げいただいたときに同梱されている付属品は次のとおりです。
万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店まで
ご連絡ください。

タグ番号：
下図のように付属のケーブルには
すべてタグ番号を表示しています。

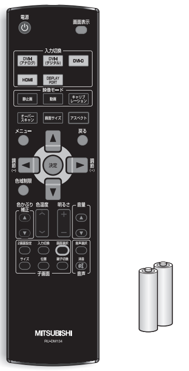
タグ番号


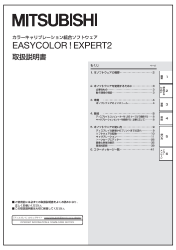
電源コード
AC100 V専用

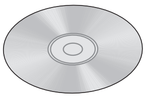
本機専用です。
安全のため、他の機器には使用しないでください。

取扱説明書（本書）

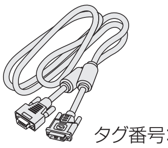
セットアップシート

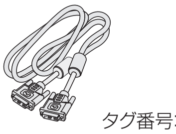
リモコン／単4形乾電池2本


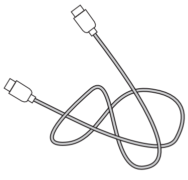
取扱説明書
(カラーキャリブレーション
統合ソフトウェア
EASYCOLOR!EXPERT2)


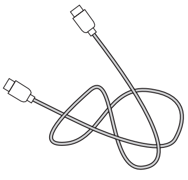
ユーティリティーディスク
●カラーキャリブレーション統合ソフトウェア
EASYCOLOR！EXPERT2


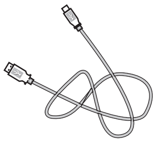
保証書
(梱包箱に貼り付けて
あります。)

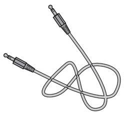
信号ケーブル

タグ番号:「1」
DVI-A－ミニD-SUB15ピン
変換ケーブル
（アナログ接続用）

信号ケーブル

タグ番号:「2」
DVI-D－DVI-Dケーブル
（デジタル接続用）

HDMIケーブル

タグ番号:「3」

DisplayPortケーブル

タグ番号:「4」

USBケーブル

タグ番号:「5」

音声ケーブル

タグ番号:「6」

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

別売オプション

お買い求めの際は、販売店まで
ご連絡ください。

遮光フード
形名：OH-2246W

環境光の影響をやわらげる、専用の遮光フード。簡単に取り付けられ、照明の映り込みや外光の反射を防ぎ、快適な作業環境を提供します。また上部の開閉カバーを外すことで、フードを取り付けたまま、キャリブレーションセンサーを取り付けることができます。

本書の見かた

本書の表記のしかた

お願い：取扱い上、特に守っていただきたい内容

お知らせ：取扱い上、参考にしていただきたい内容

：参考にしていただきたいページ

Win Mac：Windows® と Macintosh 両方に関わる内容

Win：Windows® のみに関わる内容

Mac：Macintosh のみに関わる内容

知りたいことを探すために

やりたいことから探す→「何ができるの？」→ P3
言葉と意味で探す→「用語解説」→ P60
もくじで探す→「もくじ」→ 表紙 , P2
さくいんで探す→「さくいん」→ P63

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。　VCCI-B

本機は付属の電源コードおよび信号ケーブルを使用した状態で VCCI 基準に適合しています。

本製品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界に関するガイドライン」に適合しています。

本製品は高調波電流規格 JIS C61000-3-2 に適合しています。

本製品は PC3R「PC グリーンラベル制度」の審査基準（★★☆ Ver.12）を満たしています。
詳細は、Web サイト：http://www.pc3r.jp をご覧ください。

本製品は「J-Moss グリーンマーク・ガイドライン」に基づく J-Moss グリーンマークを表示しています。
「J-Moss（JIS C 0950)」に基づく特定の化学物質（鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE）の含有状況についての情報を公開しています。
詳細は、ウエブサイト www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/environment をご覧ください。
形名：RDT242WH(GY)

本製品は医療機器ではありませんので、診断には使用できません。また、日本画像医療システム工業会規格（JESRA X-0093）に定める医療画像表示用モニターに相当しません。

■ 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
■ 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
■ 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。
■ 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。

Diamondcrysta Color、EASYCOLOR ! EXPERT は、三菱電機株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Macintosh は Apple 社の米国等における登録商標です。
HDMI、HDMI ロゴおよび、High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
DisplayPort、DisplayPort Compliance Logo は、Video Electronics Standards Association の米国およびその他の国における商標です。
Thunderbolt は、米国 Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。
Adobe は Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他、この取扱説明書に記載された社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

安全のために必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 危険	死亡や重傷を負うおそれが大きい内容です。
⚠ 警告	死亡や重傷を負うおそれがある内容です。
⚠ 注意	傷害を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。
（次は図記号の例です）

（禁止記号）	してはいけない内容です。
（指示記号）	実行しなくてはならない内容です。
（注意記号）	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

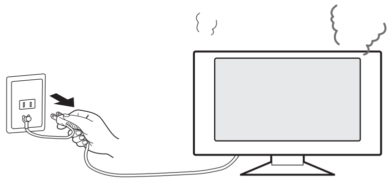
異常・故障について

異常・故障時は使用を中止してください。

プラグを抜く

◆ 異常があったときは電源プラグを抜いてください

◎煙が出たり、異常な臭いや音がする
◎映像や音声が出ないことがある
◎内部に水などの液体や異物が入った
◎本機に変形や破損した部分がある
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
●すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて販売店に修理を依頼してください。
●お客さまによる修理は危険ですから、おやめください。
●電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置の電源コンセントをご利用ください。



電源コード・電源プラグについて

◆ 破損するようなことはしないでください

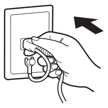
◎傷付ける　◎ねじる
◎加工する　◎引っ張る
◎熱器具に近づける　◎重いものを載せる
◎無理に曲げる　◎束ねる
火災・感電・ショートなどの原因になります。
●修理は販売店に依頼してください。

◆ 傷んだ電源プラグやゆるんだ電源コンセントは使用しないでください

火災・感電・ショートなどの原因になります。
●修理は販売店に依頼してください。

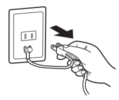
◆ 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください

差し込みが不完全だと火災・感電の原因になります。



◆ 電源プラグを持って抜いてください

コードを引っ張ると破損し、火災・感電・ショートの原因になります。



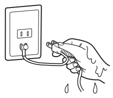
◆ 電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください

ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。

濡れ手禁止

◆ 濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください

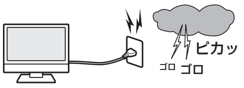
感電の原因になります。



接触禁止

◆ 雷が鳴り出したら、本機および電源プラグには触れないでください

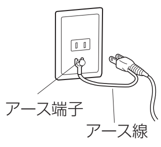
感電の原因になります。



アース線を接続する

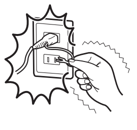
◆ アース線を接続してください
◆ 漏電遮断器の設置の有無を確認してください

故障のときに感電の原因になります。
●電源プラグを接続する前にアース線を電源コンセントのアース端子へ接続してください。
●アース線を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてからおこなってください。
●アース端子付き電源コンセントや漏電遮断器がない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。



◆ アース線を電源コンセントに挿入・接触させないでください

感電・火災の原因になります。



プラグを抜く

◆ 長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜いてください

電源プラグにほこりがたまり、感電・火災の原因になります。

⚠警告

接続ケーブルについて

◆ **接続ケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください**

火災・感電の原因になります。

◆ **接続ケーブルを壁面に挟んだり、足をひっかけたりしないように処理してください**

火災・感電・けがの原因になります。

水濡れについて

水濡れ禁止

◆ **上に花びんやコップなどを置かないでください**

故障・火災・感電などの原因になります。

風呂・シャワー室などでの使用禁止

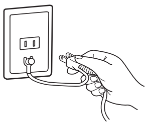
◆ **風呂場や水のかかる所に置かないでください**

故障・火災・感電などの原因になります。

電源について

◆ **電源はAC100-120VまたはAC220-240Vを使ってください**

火災・感電の原因になります。



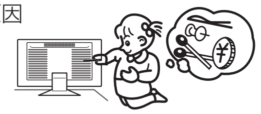
- ●AC100V電源では付属の電源コードを使用してください。
- ●AC100V以外の電源では、使用電圧に適合する電源コードをご準備ください。

異物について

◆ **内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を入れないでください**

火災・感電・故障の原因になります。

- ●特にお子さまにご注意ください。



液晶について

◆ **液晶パネルが破損して液晶が漏れ出た場合は、吸い込んだり、目や口に入れたりしないでください**

中毒を起こす原因になることがあります。

- ●万一、目や口に入ってしまった場合は、水でゆすいだ後、すぐに医師の診察を受けてください。
- ●手や衣類に付着した場合は、アルコール等で拭き取り、水洗いをしてください。

電源について

◆ **電源コンセントや電源コードの定格を超えて使わないでください**

◆ **たこ足配線をしないでください**

電源コンセントの電流容量を超えると、火災の原因になります。

誤飲防止について

◆ **小さい付属品は、乳幼児の手の届く所に置かないでください**

誤って飲み込むおそれがあります。

- ●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師の診察を受けてください。

設置について

◆ **不安定な場所に置かないでください**

倒れたり、落ちたりしてけがや故障による火災の原因になります。

分解禁止について

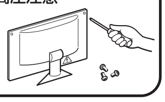
分解禁止

◆ **裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、本機を改造しないでください**

内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因になります。

高圧注意

- ●内部の点検・調整・修理は修理相談窓口にご依頼ください。



電池について

◆ **電池の液を目に入れないようにしてください**

電池の液が目に入ったときは、すぐに水道水などの大量の水で十分に洗った後、医師の治療を受けてください。

◆ **電池の液をなめないでください**

液をなめたときは、医師の診察を受けてください。

- ● 特にお子さまにご注意ください。

◆ **電池は、乳幼児の手の届かない所に置いてください**

万一、電池を飲み込んだときはすぐに、医師の診察を受けてください。

◆ **電極（プラス⊕とマイナス⊖）をショートさせないでください**

過大電流が流れて漏液・発熱・破裂させる原因になります。

◆ **電池を分解したり、火の中に入れたりしないでください**

加熱され漏液・発熱・破裂させる原因になります。

◆ **極性（⊕と⊖）を逆に入れないでください**

◆ **新しい電池と古い電池を混ぜたり、異なる種類の電池を混ぜて使用しないでください**

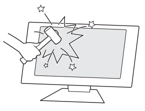
漏液・発熱・破裂させる原因になります。

⚠注意

本機の取り扱いについて

◆ **強い力や衝撃を加えないでください**

LCDパネルのガラスが割れて、けがの原因になることがあります。

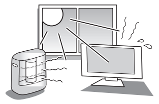


◆ **上にものを置かないでください**

落下して、けがの原因になることがあります。

◆ **直射日光や熱器具のそばに置かないでください**

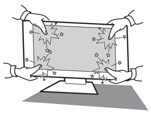
故障の原因になることがあります。



◆ **液晶パネル面を強く押さないでください**

・傷が付いたり、破損してけがの原因になることがあります。

・画質劣化や故障の原因になることがあります。



手を挟まれないように注意

◆ **本機のスタンド取り付けおよび画面位置や角度の調節時に手を挟まないでください**

◆ **本機のスタンドは本機以外では使用しないでください**

けがの原因になります。

◆ **ポリ袋で遊ばないでください**

本体や付属品の包装用ポリ袋を頭からかぶると窒息の原因になることがあります。

●お子さまにはご注意ください。

◆ **乗らないでください**

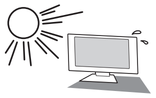
◆ **ぶらさがらないでください**

倒れたり、こわれたりして、けがの原因になることがあります。

●お子さまにはご注意ください。

◆ **屋外で使用しないでください**

故障の原因になることがあります。

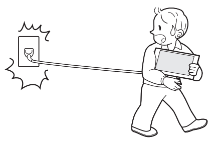


◆ **車に載せるなどの移動用途では使用しないでください**

故障の原因になることがあります。

◆ **電源コードや接続ケーブルをつけたまま移動しないでください**

本機や電源コードおよび接続ケーブルが破損する原因になります。



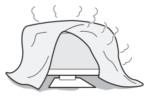
設置について

◆ **通風孔をふさがないでください**

◆ **風通しの悪い狭い所で使用しないでください**

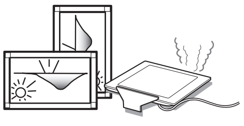
◆ **上向きや横倒し、逆さまで使用しないでください**

内部に熱がこもり、故障の原因になることがあります。



通風孔をふさがない

狭い所で使わない



上向きや横倒し、逆さまで使わない

◆ **本機の上面、左右面は壁などから10cm以上の間隔をおいて設置してください**

内部に熱がこもり、故障の原因になることがあります。

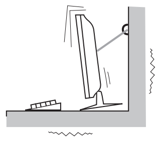
◆ **湿気やほこりの多い所、油煙や湯気があたるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください**

ショートして故障したり、画面が汚れたりする原因になることがあります。

◆ **転倒・落下防止部品を使用して固定してください**

転倒・落下して、けがの原因になります。

設置台を補強する



丈夫な紐などで製品を壁とつなぐ

⚠注意

電池について

- ◆ 充電しないでください
- ◆ 長期間使用しない場合はリモコンから取り出してください
- ◆ 直接ハンダ付けしないでください
- ◆ 変形しているなど異常な電池は使用しないでください
- ◆ 電池を落下させるなど強い衝撃を与えないでください
- ◆ 電池を変形させたり絶縁物を損傷させないでください
- ◆ 本機のリモコンに適した正しい電池を使用してください
  品名：単4乾電池

破裂・漏液により、けがや周囲を汚損したりする原因になります。

◆ 電池の液を皮膚や衣服に付着させないでください

付着したら、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

◆ 直射日光があたるなど高温／高湿の場所で保管・使用をしないでください

漏液するおそれがあります。また、電池の性能や寿命を低下させることがあります。

◆ 電池を水などで濡らさないでください

発熱したり、電極部を錆びさせることがあります。

◆ 保管時や廃棄時は端子部を絶縁してください

漏液・発熱・破裂の原因になるおそれがあります。

●保管時や廃棄時は、金属や他の電池と接触してショートしないように、必ず端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。

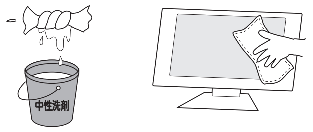
使用上のお願い

⚠注意

お手入れのしかた

プラグを抜く

◆ お手入れの前に、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください



■ 液晶パネルのお手入れ

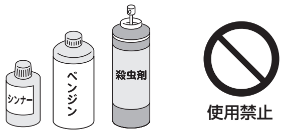
表面は傷付きやすいので硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。
ほこりの付いた布・化学ぞうきんで表面をこすると液晶パネルの表面がはがれることがあります。

- ●表面は、脱脂綿か柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- ●油など拭き取りにくい汚れのときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞り、拭き取ったあと柔らかい布で仕上げてください。研磨剤が入った洗剤は、表面を傷付けるので使用しないでください。
- ●水滴などがかかった場合は、すぐに拭き取ってください。そのままにすると液晶パネルの変質や変色の原因になります。
- ●表面にほこりが付いたときは、市販の柔らかいブラシなどでおとしてください。
- ●帯電防止剤は、液晶パネルの変質や変色の原因になるものがあります。ご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

■ キャビネットのお手入れ

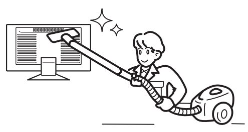
キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。
ベンジンやクリーナーなどで拭くと変質したり、塗料がはげる原因になります。

- ●柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- ●汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞り拭いてください。
- ●水滴などが液晶パネルの表面を伝ってディスプレイの内部に侵入すると故障の原因になります。
- ●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。



◆ 通風孔に付着したゴミはこまめに取り除いてください

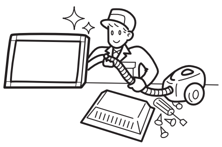
ほこりが通風孔をふさいで内部に熱がこもり、故障の原因になることがあります。



◆ 1年に一度は内部掃除をしてください

内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。

- ●内部の掃除は販売店にご依頼ください。



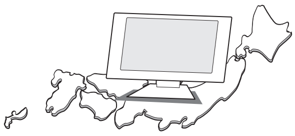
ご使用に関して

◆ 海外で使用しないでください

国内と海外では電源電圧が異なり、故障の原因になることがあります。

- ●本機は日本国内用として製造・販売しています。日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
また、この製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。
This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.

国内専用
For use in Japan only



◆ 目が疲れないように使用してください

目が疲れる使い方を続けると、視力低下などの健康障害に至ることがあります。

- ●画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40〜70cmはなれたぐらいが見やすくて目の疲れが少なくなります。
- ●明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。
- ●連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。

◆ 長時間同じ画面を表示しないでください

長時間同じ画面を表示していると、表示が焼き付くこと（残像）があります。

- ●画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。
- ●「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えたり、使用していないときは省電力モードにするか、電源をオフすることを推奨します。

液晶ディスプレイの上手な使い方

電波妨害について

本機は規格を満たしていますが若干のノイズが出ています。「ラジオ」などの機器に本機を近づけると互いに妨害を受けることがあります。その場合は、機器を影響のない所まで本機から離してください。

搬送について

- 引っ越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱と緩衝材および包装用のシートや袋をご用意ください。
- 本機は立てた状態で運搬してください。横倒しにして運搬した場合、液晶パネルのガラスが破損したり、点欠陥が増加する場合があります。

保管について

- 長期保管される場合は、電気的な性能を維持するために、定期的（6ヶ月に1回程度）に通電してください。
- 輸送・保管時は、水・ゴミ・ほこりや衝撃から保護するために、ご購入時の包装材（箱・袋・緩衝材）を使用されることを推奨します。

廃棄について

- 本機を廃棄する場合は、資源有効利用促進法に基づく、回収・リサイクルにご協力ください。→ P56
- 乾電池・リチウム一次電池は住んでいる所（各自治体）によって資源ゴミ、不燃ゴミ、有害・危険ゴミなどゴミの種類が異なり、そのため「ゴミを捨てる方法」も違います。
住んでいる市町村の指示にしたがって捨ててください。

液晶パネルについて

- 液晶ディスプレイは精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットがある場合があります。
これは故障ではありません。
本製品の有効ドット数の割合は99.9995%以上です。

お知らせ

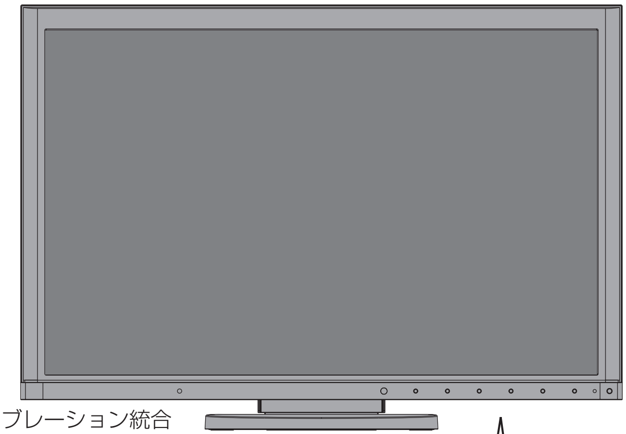
有効ドット数の割合とは、「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、当社で保証する表示可能なドットの割合」を示しています。
「画素」および「ドット」という言葉はISO13406-2にしたがい、正確に表現すると、「画素」は「ピクセル(pixel)」、「ドット」は「副画素」とも呼ばれ「サブピクセル (sub pixel)」となります。
つまり、「画素」は実態のある副画素と言われる発光する点から構成され、「副画素」は、画素に色または階調を与えるもので、一つの画素内で個別に処理される分割された画素内部構造を示します。

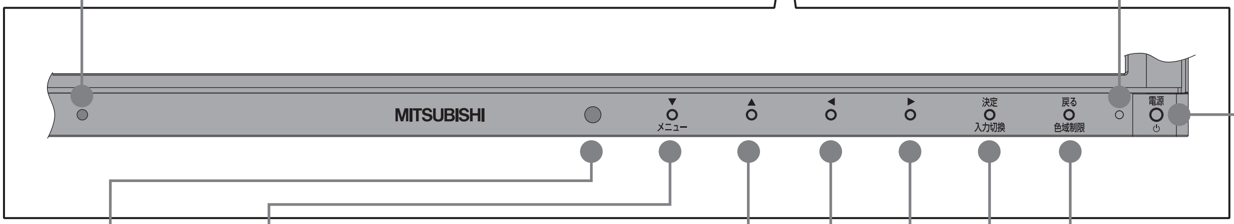
- 液晶パネルが汚れた場合は、脱脂綿か柔らかい布で拭き取ってください。
素手で触らないでください。
- 液晶パネルに水滴などがかかった場合は、すぐに拭き取ってください。
そのまま放置すると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
- 液晶パネルを傷付けないでください。
硬いもので液晶パネルの表面を押したり、ひっかいたりしないでください。

■ お客様または第三者が本機を使用中または誤使用により生じた故障やその他の不具合または本機の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

各部のはたらき

本体正面





カラーセンサー
本機周辺の環境光を測定します。
「かんたんセットアップ！」 → P26 、「自動明るさ調節」 → P35 や「カラーキャリブレーションの設定 *」
カラーセンサー機能を使用するときは、影にならないように気を付けてください。

※ 別紙カラーキャリブレーション統合ソフトウェア EASYCOLOR！EXPERT2 の取扱説明書をご覧ください。

電源ランプ
電源を投入すると緑色に点灯します。
色域制限 → P48 をされた場合は、青色の点灯に変わります。
パワーマネージメント機能 → P49 の動作中は点滅状態になります。
電源ランプの明るさは調節する → P43 ことができます。

リモコン受光部

メニュー／▼ボタン
OSD 画面が表示されていないとき
OSD 画面を表示します。
OSD 画面が表示されているとき
OSD 画面を操作します。
選択時に下方向へ移動します。

▲ボタン
OSD 画面が表示されているとき
OSD 画面を操作します。
選択時に上方向へ移動します。

◀ボタン
OSD 画面が表示されていないとき
ホットキー機能を有効にしている場合は明るさの OSD 画面が表示されます。
OSD 画面が表示されているとき
OSD 画面を操作します。
選択時に左方向へ移動します。
調節時は減少（左方向）します。

▶ボタン
OSD 画面が表示されていないとき
ホットキー機能を有効にしている場合は音量調節の OSD 画面が表示されます。
OSD 画面が表示されているとき
OSD 画面を操作します。
選択時に右方向へ移動します。
調節時は増加（右方向）します。

決定／入力切換ボタン
OSD 画面が表示されていないとき
▶DVI-I（アナログ）
▶DVI-I（デジタル）
▶DVI-D → HDMI
▶DisplayPort
の順で入力切換をおこないます。
OSD 画面が表示されているとき
調節／選択した内容を実行します。

戻る／色域制限ボタン
OSD 画面が表示されていないとき
色域の再現領域を sRGB 相当の色域へ変換します。（映像モードにより変換される色域は異なります。）
OSD 画面が表示されているとき
選択している OSD 項目メニューから抜け出るときに押します。
グループアイコンが選択されている状態の場合は、OSD 画面が消えます。

電源スイッチ（⏻）
電源を入／切します。

お 願 い
電源を短時間のうちに頻繁に入／切しないでください。
故障の原因になることがあります。

お知らせ
付属のリモコンでも入／切できます。

お知らせ

- 各ボタンによる詳しい OSD の操作については「OSD の基本操作」 → P31 をご覧ください。
- カラーセンサー、リモコン受光部
  カラーセンサーレンズやリモコン受光部レンズに汚れや油が付着すると正常に動作しない場合があります。
  また、照度の高い環境光や太陽光がカラーセンサーに直接当たらないようにしてください。

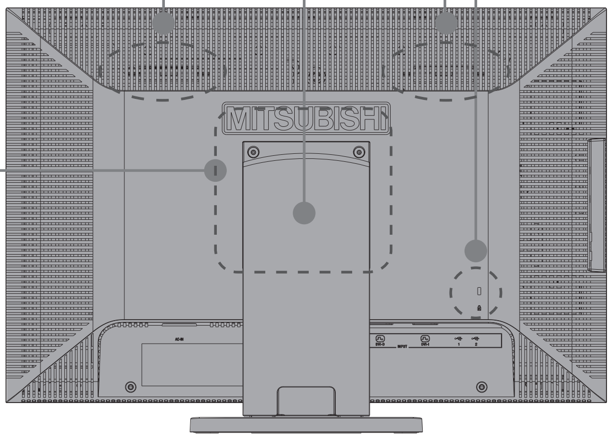
本体背面／側面

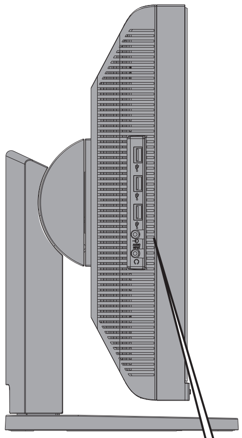
内蔵ステレオスピーカー
2 W + 2 W

ケーブルカバー
接続したケーブルを隠して背面をスッキリ見せます。

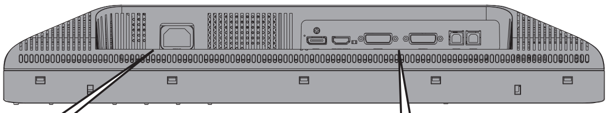
盗難防止用ロック穴
盗難防止用キー（Kensington 社製）を取り付けられます。

VESA 規格準拠穴
（以下、VESA 穴と記載）
スタンドを外して市販のアームスタンドを取り付けられます。（M4-100 mm ピッチ）
→ P58

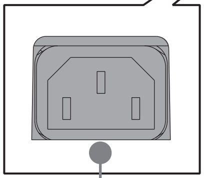


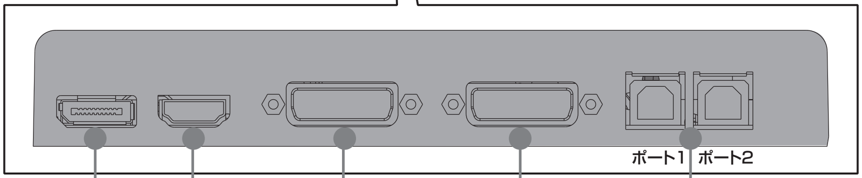


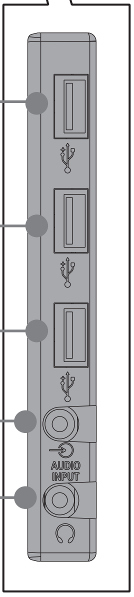
＜側面視＞



＜底面視＞







電源入力コネクター
電源コードを接続します。

DisplayPort 入力端子
デジタル映像出力端子のある機器と付属の DisplayPort 専用ケーブル（タグ番号：4）で接続します。

HDMI 入力端子（HDMI）
HDMI 出力端子のあるコンピューターや AV 機器を付属の HDMI ケーブル（タグ番号：3）で接続します。

デジタル信号入力端子（DVI-D）
付属の DVI-D ケーブル（タグ番号：2）でコンピューターと接続します。

デジタル／アナログ信号入力端子（DVI-I）
付属の DVI-A- ミニ D-SUB15 ピン変換ケーブル（タグ番号：1）または付属の DVI-Dケーブル(タグ番号:2)でコンピューターと接続します。

USB アップストリーム　2 ポート
USBハブ機能やEASYCOLOR！EXPERT2を使用時に付属の USB ケーブル（タグ番号:5）でコンピューターと接続します。出荷時はポート 1（内側）が有効になっています。→ P21

USB ダウンストリーム　3 ポート
USB に対応した周辺機器（キャリブレーションセンサー等）と USB ケーブル（市販）で接続します。

音声入力端子（ステレオミニジャック）
付属の音声ケーブル（タグ番号：6）でコンピューターと接続します。

ヘッドホン端子
ヘッドホンを接続して使用できます。

リモコン

電源ボタン
電源を入／切します。

入力切換ボタン
DVI-I（アナログ）、DVI-I（デジタル）、DVI-D、HDMI、DisplayPort
それぞれの映像入力をダイレクトに切り換えます。

映像モード切換ボタン
静止画モード、動画モード、キャリブレーションモードをスキップ設定に応じて切り換えます。 → P33 ～ P35

静止画モード：
「sRGB」「PIC.1」「PIC.2」「PIC.3」

動画モード：
「CG」「TV.1」「TV.2」「TV.3」

キャリブレーションモード：
「NATIVE」「CAL.1」「CAL.2」「CAL.3」

オーバースキャンボタン
オーバースキャンを設定します。
（2 モード） → P38
フル、オーバースキャン（スキャン率で設定した値）
HDMI 入力で AV タイミングを表示しているときに切り換えることができます。

画面サイズボタン
画面サイズを切り換えます。
（4 モード） → P38
フル、アスペクト、2x ズーム、リアル

アスペクトボタン
SD タイミングの入力映像に対して、画面のアスペクト比を設定します。
自動、4：3、16：9
PC 入力時は使用できません。

メニューボタン
OSD 画面を表示します。

戻るボタン
OSD 画面を消します。
OSD 機能の操作の最中には 1 つ前の画面に戻ります。

コントロールボタン（▲▼◀▶）
OSD 画面の操作をします。

決定ボタン
OSD 画面が表示されている場合
選んだ項目を実行します。

子画面　2 画面設定ボタン
親画面と子画面の表示を設定します。
切、PinP、PbyP

子画面　サイズボタン
（子画面表示時のみ有効です）
子画面のサイズを切り換えます。
PinP：小、中、大
PbyP：フル、アスペクト

子画面　入力切換ボタン
（子画面表示時のみ有効です）
子画面に表示する映像を切り換えます。

画面表示ボタン
画面左上にサブ OSD を表示します。
表示している映像入力（親画面）、映像入力（子画面）、2 画面モード、音声入力、映像モード（親画面）、映像モード（子画面）、色域制限が確認できます。

色域制限ボタン
色域の再現領域を sRGB や BT.709 相当の色域へ変換します。
（映像モードにより変換される色域は異なります。）

色かぶり補正ボタン
画面の色かぶりを補正調節します。
▲：マゼンタ方向に補正します。
▼：緑方向に補正します。

色温度調節ボタン
画面の色温度を調節します。
∧：最高 10000K の色温度まで
∨：最低 2600K の色温度まで

明るさボタン
画面の明るさを調節します。
＋：明るくなります。
－：暗くなります。

音量ボタン
音量を調節します。
▲：音が大きくなります。
▼：音が小さくなります。

音声選択ボタン
現在表示中の映像ソースに関係なく、音声入力のみを切り換えることができます。

消音ボタン
音を消します。
もう一度押すか、音量ボタンを押すと、音声が出るようになります。

子画面　位置ボタン
（子画面表示時のみ有効です）
子画面の表示位置を切り換えます。
PinP：右上、右下、左下、左上
PbyP：左、右

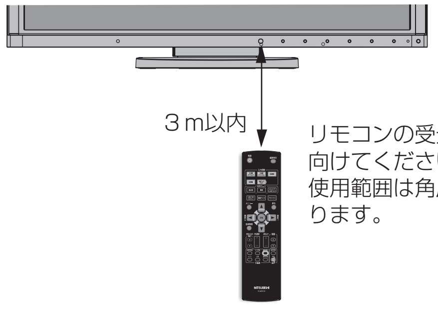
子画面　画面選択ボタン
（子画面表示時のみ有効です）
現在表示中の親画面と子画面を選択します。リモコンの入力切換や映像モードなどと組み合わせて、選択されている画面の入力やモードなどを調節します。

子画面　親子切換ボタン
（子画面表示時のみ有効です）
現在表示中の親画面と子画面を切り換えます。

リモコンの取り扱い

基本的な使い方

リモコンはディスプレイ本体のリモコン受光部へ向けて操作してください。



⚠注意

● リモコン使用上の注意
・ 本機専用のリモコンです。他のディスプレイやテレビなどの操作はできません。
・ リモコンの動作範囲は真正面からの直線距離で約３ｍですが、操作する角度によっては反応が遅かったり、動作しないこともあります。この場合は、画面に近づくか、より真正面に近い角度で操作してください。
・ リモコンを落としたり衝撃を与えないでください。
　また、水に濡らしたり、温度の高い所に置かないでください。故障の原因になります。
・ リモコンを直射日光のあたる場所に放置しないでください。熱により変形することがあります。
・ リモコンを操作しても本機が動作しなくなったら電池の交換時期です。新しい電池と交換してください。
・ 本体のリモコン受光部とリモコンの間に障害物を置かないでください。

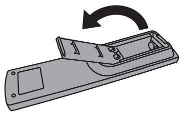
落としたり衝撃を与えない。

水をかけたり、濡れたものの上に置かない。

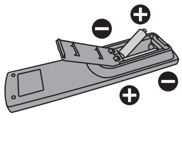
ベンジン、シンナーなど揮発性の液体でふかない。

電池の入れ方

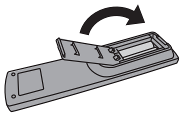
1 ふたのフックを矢印のように押しながら引き上げる



2 ケース内部の表示とおりに⊕⊖を合わせて入れる



3 ふたを元に戻す



⚠警告

● 使用している電池は、使用形態や使用環境、保存環境などによって、漏液・発熱・破裂による火災、けがや機器故障の原因になります。
● 「安全のために必ずお守りください。」→ P9 をご覧になり、取り扱いには十分に注意してください。

⚠注意

● 長期間リモコンを使用しない場合や使い切った電池はすぐにリモコンから取り出してください。
　長期間放置すると電池から発生するガスによる漏液、発熱により、リモコンを損傷する恐れがあります。

お知らせ

● 付属の電池は保存状態により短時間で消耗することがありますので、早めに新しい電池と交換してください。
● リモコンが動作しなくなったり、操作できる距離が短くなったときは、２本とも新しい電池と交換してください。

使用の準備

使用するための流れ

[準備1] ディスプレイとコンピューターを接続する → P17
1台のコンピューターを接続（デジタル接続／アナログ接続）
2台のコンピューターを接続（デジタル1系統／アナログ1系統同時接続）
3〜4台のコンピューターを接続（デジタル2系統／アナログ1系統同時接続）
コンピューターの音声出力端子と接続

必要に応じて

[準備2] ディスプレイとAV機器やデジタルカメラを接続する → P20

[準備3] ディスプレイとコンピューターをUSBケーブルで接続する → P21
接続方法の詳細は、EASYCOLOR！EXPERT2取扱説明書をご覧ください。

[準備4] 電源コードを本機に接続する → P21

必要に応じて

[準備5] ケーブルをまとめる → P22

[準備6] 電源プラグのアース線を接続する → P23

[準備7] 電源プラグをAC100 V電源コンセントに接続する → P23

[準備8] 設置する → P23

必要に応じて

[準備9] 画面の高さおよび角度を調節する → P24

[準備10] 縦型表示にする/横型表示にする → P24

[準備11] ヘッドホンを接続する → P25

[準備12] かんたんセットアップ！ → P26

[準備13] 画面調節 → P27

必要に応じて

[準備14] 付属ユーティリティーディスクのソフトウェアをインストールする → P29
インストール方法やキャリブレーションセンサーの接続方法および使用方法は、
付属の別紙取扱説明書をご覧ください。
・EASYCOLOR！EXPERT2

これでコンピューターとディスプレイの準備は終わりです。

[準備 1] ディスプレイとコンピューターを接続する

本機にコンピューターを信号ケーブルで接続してください。

お 願 い

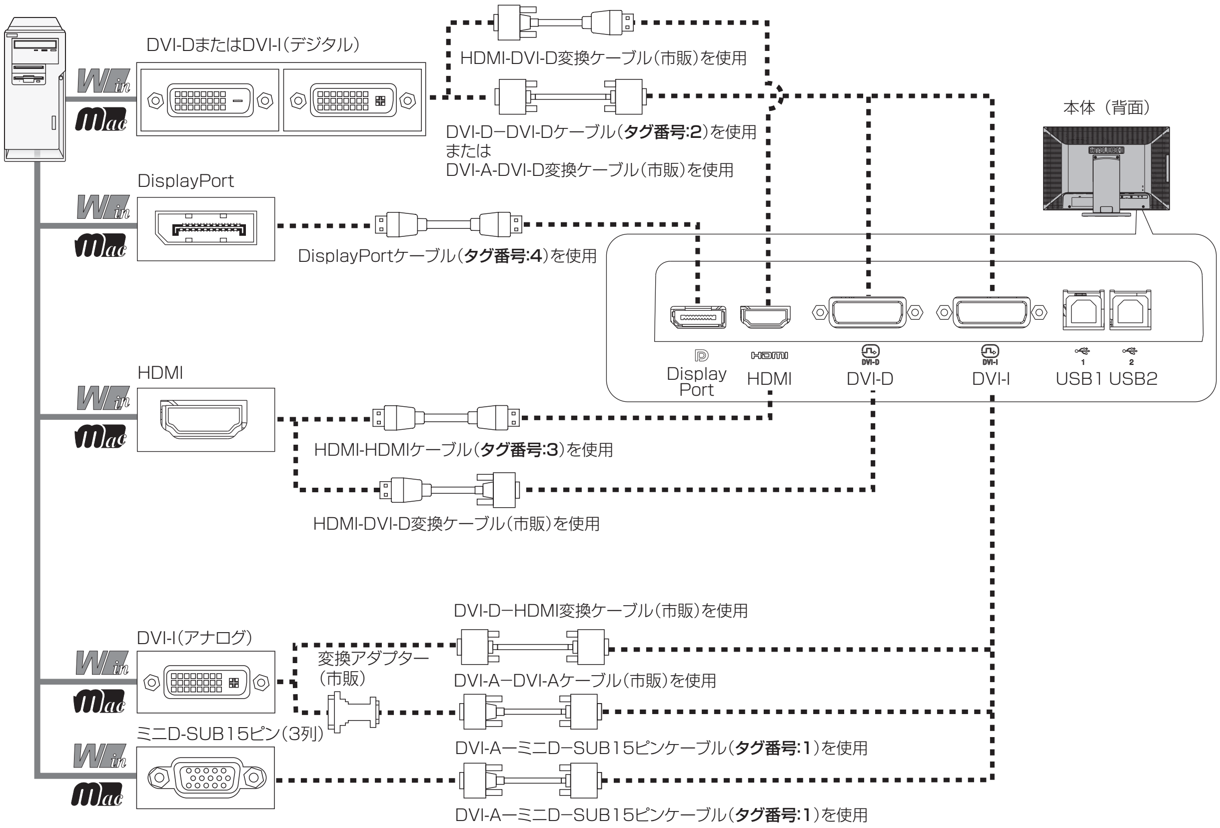
● 信号ケーブルを接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってください。
● デジタル接続とアナログ接続を同時におこなう場合は、まず、デジタルの信号ケーブルを先に接続してください。

お知らせ

● 画面を上方に傾けた方がケーブル類の接続が簡単におこなえます。
信号ケーブルおよび変換アダプターは、接続後必ずそれぞれの**固定ネジで確実に固定してください。**
● DisplayPort ケーブルには固定ネジはありませんが、ロック機能があります。ケーブルを取り外すときはコネクターのボタンを押して取り外してください。

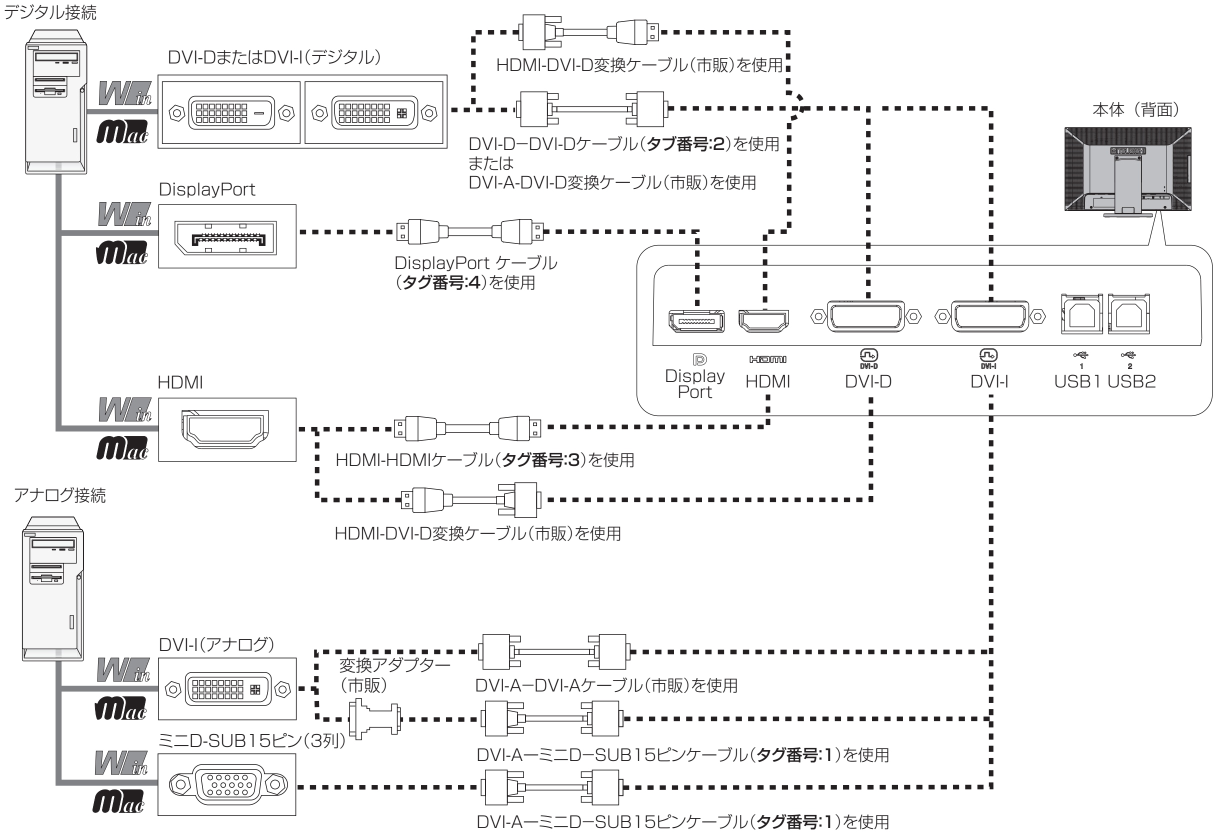
1 台のコンピューターを接続（デジタル接続／アナログ接続）

付属の信号ケーブルあるいは市販の信号ケーブルや変換アダプターを使用して、以下に示す接続図のいずれかの方法で、1 台のコンピューターの信号出力端子と本機の入力信号端子を接続します。



2 台のコンピューターを接続（デジタル 1 系統／アナログ 1 系統同時接続）

付属の信号ケーブルあるいは市販の信号ケーブルや変換アダプターを使用して、以下に示す接続図のいずれかの方法で、デジタル信号出力とアナログ信号出力の 2 台のコンピューターを同時に本機の入力信号端子を接続します。

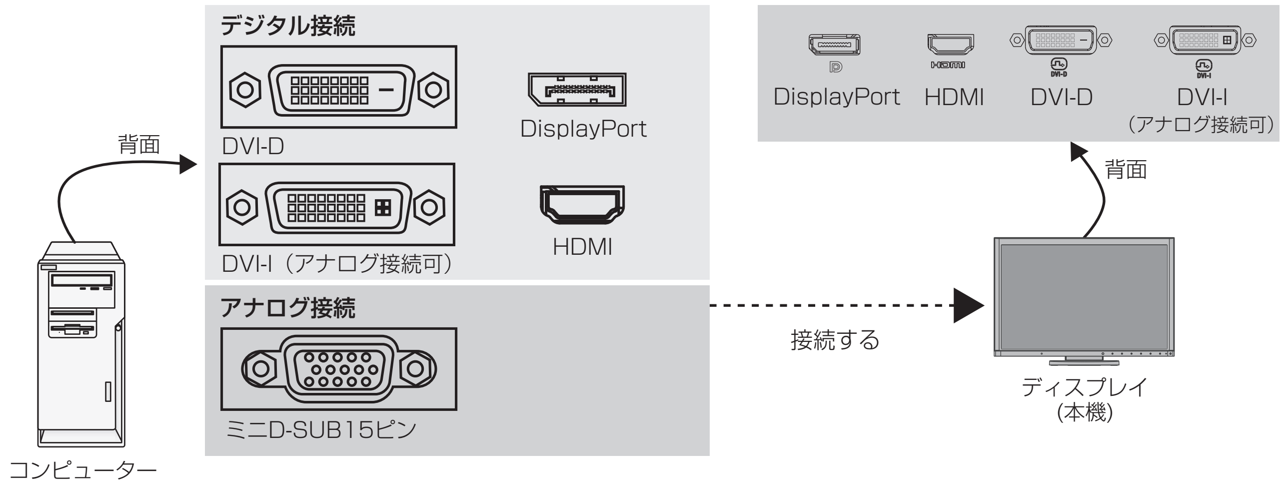


3 ～ 4 台のコンピューターを接続（デジタル 2 ～ 3 系統／アナログ 1 系統同時接続）

2 ～ 3 台のコンピューターを同時にデジタル接続することも可能です。その場合、それぞれのコンピューターからのデジタル接続の信号ケーブルを本機の HDMI 端子と DisplayPort 端子および DVI-D 端子にそれぞれ接続してください。
更にもう 1 台のコンピューターをアナログ接続することにより最大 4 台のコンピューターを同時に接続することが可能です。

接続について

本機の信号入力コネクターは､アナログ信号（DVI-I）とデジタル信号（DVI-D､DVI-I､HDMI､DisplayPort）に対応しています。
また、複数のコンピューターを同時に本機に接続し、表示する入力を切り換えて使うことができます。
ご使用のコンピューターの出力端子の形状をお確かめになり、本機の信号コネクターに接続してください。
本機に付属している信号ケーブルには「タグ番号」を表示しています。対応表に示す信号ケーブルをご使用ください。



接続端子と信号ケーブル対応表

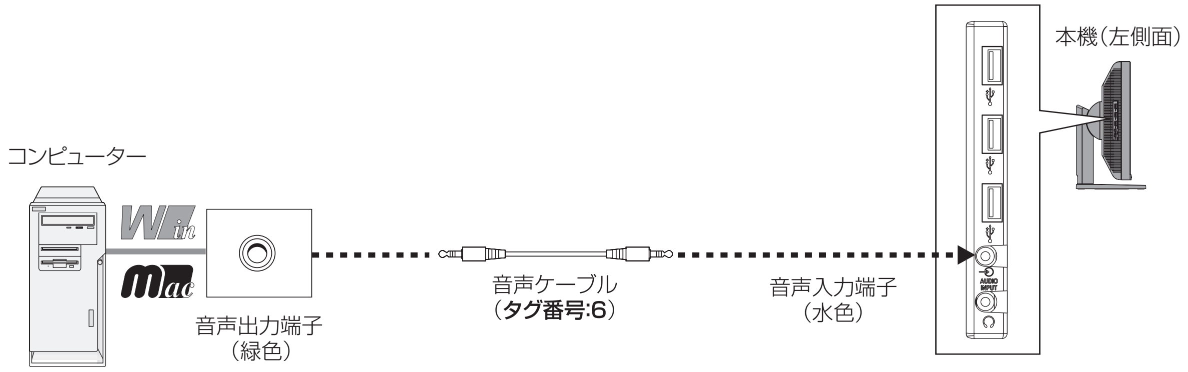
ディスプレイ側 / コンピューター側	DVI-I（アナログ接続／デジタル接続）	DVI-D（デジタル接続）	HDMI（デジタル接続）	DisplayPort（デジタル接続）
DVI-I（アナログ接続／デジタル接続）	デジタル接続のとき：DVI-D─DVI-D付属ケーブル（**タグ番号:2**）で接続 アナログ接続のとき：DVI-A─DVI-Aケーブル（市販）で接続	DVI-D─DVI-D付属ケーブル（**タグ番号:2**）で接続	DVI-D─HDMIケーブル（市販）で接続	接続できません
DVI-D（デジタル接続）	DVI-D─DVI-D付属ケーブル（**タグ番号:2**）で接続	DVI-D─DVI-D付属ケーブル（**タグ番号:2**）で接続	DVI-D─HDMIケーブル（市販）で接続	接続できません
HDMI（デジタル接続）	DVI-D─HDMI変換ケーブル（市販）で接続	DVI-D─HDMI変換ケーブル（市販）で接続	HDMI─HDMI付属ケーブル（**タグ番号:3**）で接続	接続できません
DisplayPort ※1（デジタル接続）	接続できません	接続できません	接続できません	DisplayPort付属ケーブル(**タグ番号:4**)で接続
ミニD-SUB15ピン（アナログ接続）（3列）	DVI-A─ミニD-SUB15ピン付属ケーブル（**タグ番号:1**）で接続	接続できません	接続できません	接続できません

DVI-I ：デジタル入力とアナログ入力の両方に対応しているDVI端子。接続するケーブルあるいは変換アダプターによって入力の使い分けが可能
DVI-D ：デジタル入力のみに対応しているDVI端子
DVI-A ：アナログ入力のみに対応しているDVI端子

※1 ミニDisplayPort／Thunderbolt™の場合、別途変換アダプター（市販）が必要です。

[準備 1] ディスプレイとコンピューターを接続する（つづき）

コンピューターの音声出力端子と接続



お知らせ

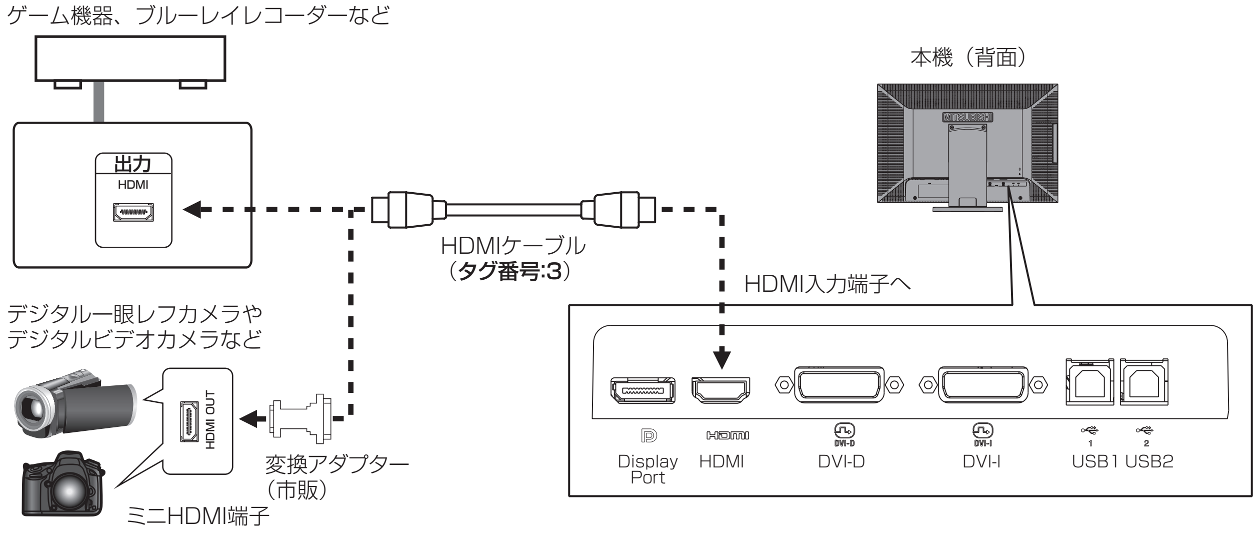
- コンピューター側の接続方法については、コンピューターの取扱説明書もあわせて参照ください。
- 音声ケーブルは付属品またはステレオミニプラグ付きの抵抗なしのものを使用ください。
  抵抗有りの音声ケーブルを使用した場合、音量が大きくならなかったり、音声が出ない場合があります。

[準備 2] ディスプレイと AV 機器やデジタルカメラを接続する [必要に応じて]

HDMI 出力に対応した AV 機器やデジタルカメラと付属の HDMI ケーブル（タグ番号：3）で接続する

本機は、ゲーム機器やブルーレイレコーダーなどの AV 機器や MiniHDMI 端子を装備したデジタルカメラなどと接続して使用することができます。
機器側の接続方法については、ご使用になる AV 機器やデジタルカメラなどの取扱説明書もあわせて参照ください。

HDMI 出力に対応した AV 機器やデジタルカメラに接続



お知らせ

- すべての HDMI 機器への接続を保証するものではありません。
- 一部の AV 機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。
  数秒（5 ～ 30 秒）お待ちください。数秒待っても画面が表示されない場合は、下記の操作をおこなってください。
  - ・ 本機の電源スイッチを切り、電源を入れ直してください。
  - ・ 電源コードを含むすべてのケーブルを抜き、接続し直してください。
  - ・ AV 機器側の電源を切り、電源を入れ直してください。
  - ・ シンク設定 → P43 の設定をおこなってください。

[準備 3] ディスプレイとコンピューターを USB ケーブルで接続する [必要に応じて]

付属の USB ケーブル（タグ番号：5）で下図のように接続する

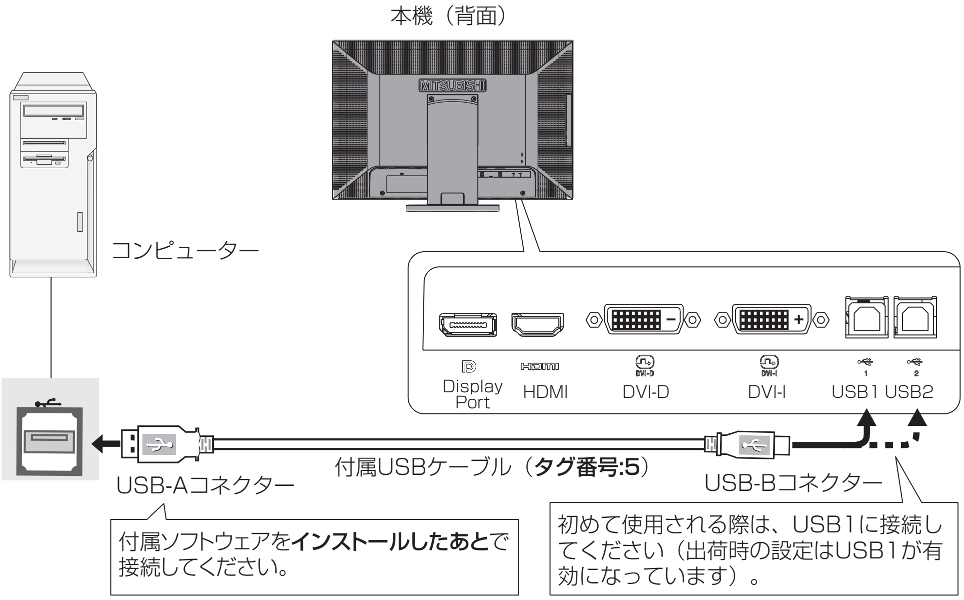
本機には 2 ポートのアップストリームと 3 ポートのダウンストリームを装備しています。映像入力ごとにどちらのアップストリームを使用するか設定し、入力切換と連動してホストコンピューターを切り換えることができます。→ P43
これにより本機のダウンストリームに接続された機器（キーボードやマウスなど）を 2 台のコンピューターで共有して使用できます。

お 願 い

- ディスプレイに USB メモリーやハードディスクドライブなどの記憶装置を接続している場合、本機の電源スイッチをオフにする、または入力信号を切り換える際は事前に記憶装置を停止させ、取り外しておいてください。万一、接続したまま上記の操作をおこなうとデータが失われたり、装置を破損させてしまう場合があります。

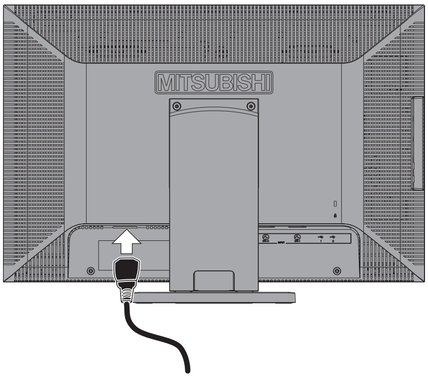
お知らせ

- 本機の電源が切れている場合、USB ハブ機能は動作しません。
- スリープモード時 → P49 の場合、USB ハブ機能は動作しますが、接続されている機器によって消費電力が増加します。
- 本機の USB ハブは USB2.0 対応です。USB3.0 対応の機器も接続できますが、転送速度は USB2.0 相当になります。
- 本機に USB ケーブルを 1 本付属しておりますが、2 台のコンピューターで使用する場合は 2 本のケーブルが必要になりますので、市販のケーブルを使用してください。
- コンピューターや OS、周辺機器によっては動作しない場合があります。この場合は、各使用機器の取扱説明書を確認したり、各機器のメーカーにお問い合わせください。
- コンピューター側のコネクター（USB-A）は、「準備 14 付属ユーティリティーディスクのソフトウェアをインストールする」が完了してから接続してください。付属のソフトウェアを使用しない場合はコンピューター側のコネクターを接続してください。この場合、EASYCOLOR ! EXPERT2 用ドライバーソフトウェアがインストールされませんが、USB ハブ機能は使用できます。



[準備 4] 電源コードを本機に接続する

電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクターに差し込む
奥までしっかりと差し込んでください。



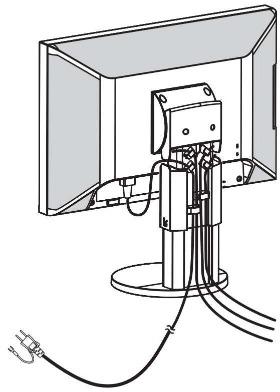
お 願 い

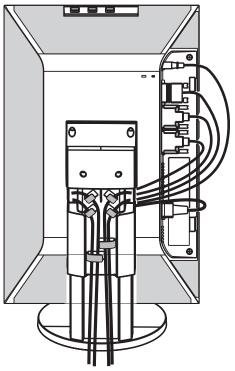
- コンピューター本体の電源コンセントに接続するときは、電源容量を確認してください。（1.0 A 以上必要です。）
- 電源コードは本体に接続してから電源コンセントに差し込んでください。

[準備 5] ケーブルをまとめる [必要に応じて]

1 ケーブルカバーを引き上げて外す

2 スタンドのツメに本機に接続した電源コード、信号ケーブル、音声ケーブル、USB ケーブルを引っ掛けてまとめる



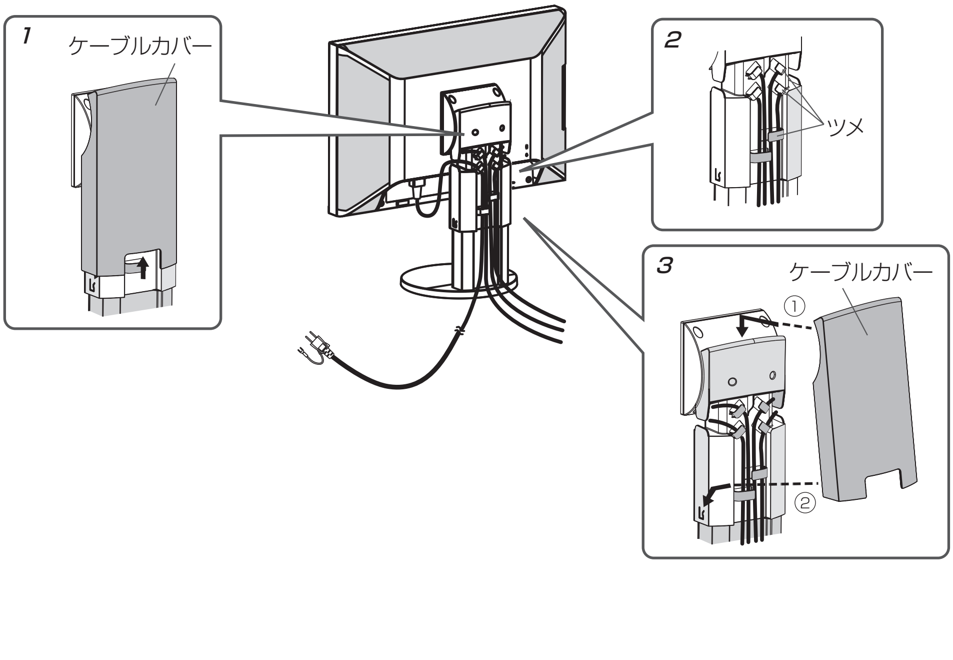


お 願 い

ディスプレイ部を回転させて縦型表示で使用するときは、スタンドの上部ツメ部から信号の端子までのケーブルの余長を十分にとってください。転倒等の原因になる場合があります。

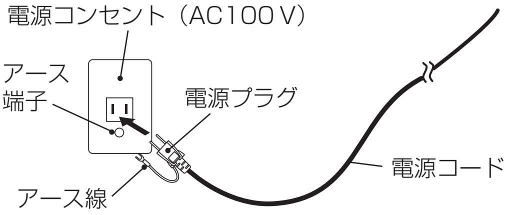
3 ケーブルカバーを取り付ける

① スタンド上部にケーブルカバーを引っ掛ける。
② スタンド側面のツメでケーブルカバーがロックされるまで押し込む。



もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

[準備 6] 電源プラグのアース線を接続する
[準備 7] 電源プラグを AC100 V 電源コンセントに接続する



お 願 い

● 電源コンセントの周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。
This socket-outlet shall be installed near the equipment and shall be easily accessible.

⚠警告

● 表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因になります。
● 本機には一般のご家庭のコンセント（AC100 V）でお使いいただくための電源コードを添付しております。
AC100 V 以外（最大 AC240 V）でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。
● 電源プラグのアース線は必ず電源コンセントのアース端子などへ接続してください。
なお、アース線の接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてからおこなってください。
また、電源プラグのアース線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因になります。
● 本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため、他の機器には使用しないでください。
● 建築物への漏電遮断器の設置は、法律で義務付けられています。
設置されていない場所で使用される場合は、お買い上げの販売店に設置工事（有料）をご相談ください。

アース端子付きコンセントがない場合

● ガス管、水道管、避雷針、電話線のアース線に接続しないでください。
感電・爆発・引火の原因になります。
● お買い上げの販売店にアース工事（D 種接地工事、有料）をご相談ください。
アース工事は「電気工事士」資格が必要です。

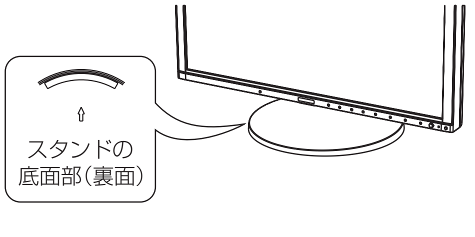
[準備 8] 設置する

ディスプレイの画面が見やすい所に設置する

⚠注意

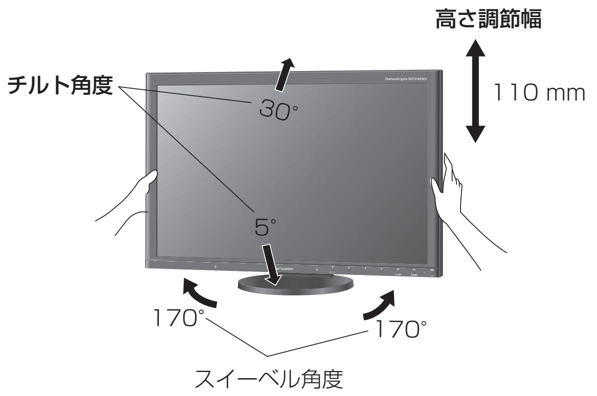
設置時は、次のことをお守りください。
詳しくは「安全のために必ずお守りください」をご覧ください。→ P7、P8

● 不安定な場所に置かないでください。
● 湿気やほこりの多い所、油煙や湿気があたるような所（調理台や加湿器のそば）に置かないでください。
● 通風口をふさがないようにしてください。
● 本機の上面、左右面は壁などから 10cm 以上の間隔をおいて設置してください。
● 風通しの悪い狭い所で使用しないでください。
● 上向きや横倒し、逆さまで使用しないでください。
● 転倒・落下防止の処置を施してください。
● スタンド底面部にある↑を右図のように手前に向けて設置してください。
↑の位置がずれていると、左右均等に回転しなくなります。



[準備 9] 画面の高さおよび角度を調節する [必要に応じて]

画面の高さ・左右角度・上下角度を調節する
お好みに合わせて本機の画面の位置を調節してください。
右図のように両手で動かして見やすい位置に調節します。

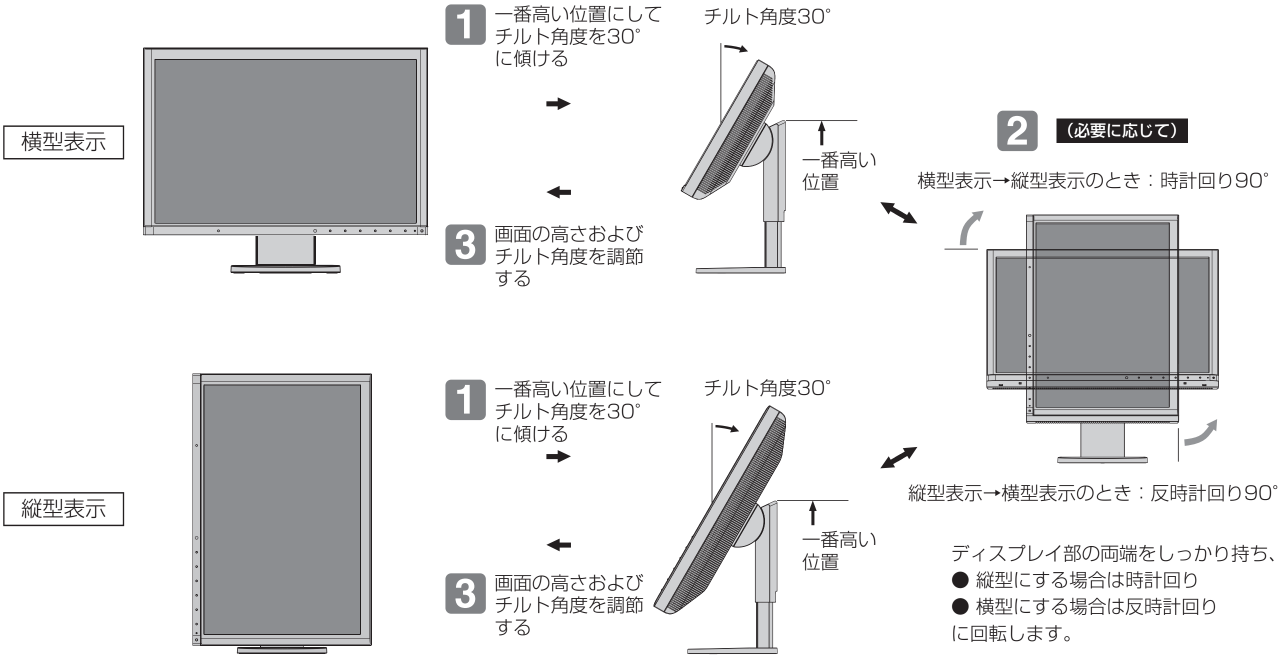


⚠注意

● **画面位置調節時に、手を挟まないように気を付けてください。けがの原因になることがあります。**

[準備 10] 縦型表示にする / 横型表示にする [必要に応じて]

本機はディスプレイ部を回転させることで横型表示および縦型表示に対応します。次の手順にしたがってください。



お知らせ

● ディスプレイ部を回転させるときは必ず電源コード、信号ケーブルを外してからおこなってください。外さずに回転すると、ケーブル類が引っ張られ、ケーブルカバーが破損したり、急に外れるなど、けがの原因になります。
● ディスプレイ部を回転するときは、必ずディスプレイ部を一番高い位置までスライドさせてチルト角度を 30° にしてください。低い位置のまま回転すると、手を挟んだり机にぶつけるなど、けがや破損の原因になります。
● ディスプレイ部を回転するときは必ず上図の方向に回転してください。無理に反対方向に回転すると本機が破損したり倒れたりする原因になります。
● OSD 画面は回転しません。

⚠注意

● **高さ調節時、チルト角度調節時、回転時にディスプレイ部はスタンドベース面近くまで下がりますので、手を挟まないように注意してください。けがの原因になります。**

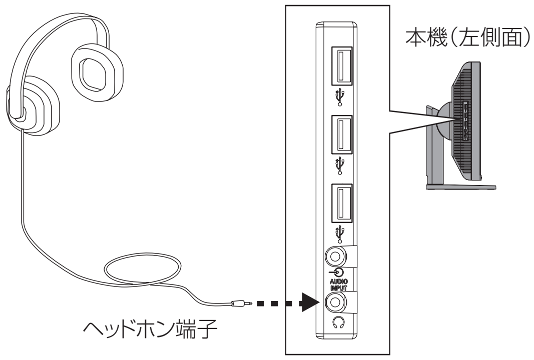
[準備 11] ヘッドホンを接続する [必要に応じて]

ヘッドホンと接続

本機のヘッドホン端子にヘッドホンを接続してご使用できます。

⚠注意

- **ヘッドホンを耳にあてたまま接続しないでください。音量によっては耳を傷める原因になります。**
- **ヘッドホンをご使用の際は、音量を上げすぎないようにご注意ください。大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。**



お知らせ

- 本機に接続できるのは、ステレオミニプラグ付きのヘッドホンです。お持ちのヘッドホンのプラグが大きくて入らないときは、「ステレオ標準プラグ→ステレオミニプラグ」変換プラグ(市販)をご使用ください。
- ヘッドホンを接続すると、スピーカーからの音声は消えます。
- 電源「切」時、パワーマネージメントからの復帰時などにノイズが発生することがあります。

[準備 12] かんたんセットアップ！

ディスプレイの表示設定を適切に自動調節する

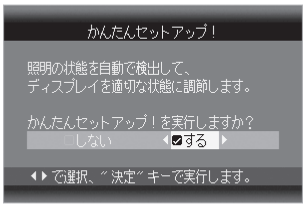
本機の電源を初めて入れると、「かんたんセットアップ！」が実行されます。本体正面にあるカラーセンサーを使用し、ディスプレイの設置場所の環境光にあわせて自動で「明るさ」「色温度」を調節します。

1 本機の電源を入れる

お知らせ

- コンピューターの電源を入れる前にディスプレイの電源を入れてください。

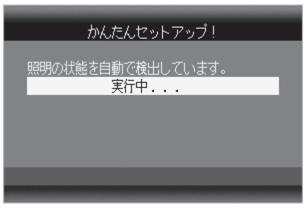
2「かんたんセットアップ！」の OSD が表示される



① 本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀ 調節（−）」「▶ 調節（+）」ボタンで「しない」「する」を選択します。
② 本体の「決定／入力切換」ボタンまたはリモコンの「決定」ボタンを押します。

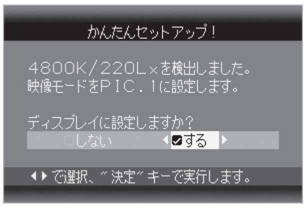
「しない」を選択した場合は「かんたんセットアップ！」を実行せずに終了します。

3 ディスプレイ設置場所の環境光を測定する



① カラーセンサーを使用してディスプレイ設置場所の環境光の状態を検出します。
カラーセンサーが障害物やお客様ご自身などの影にならないよう注意してください。

4 検出した環境光の状態を表示する



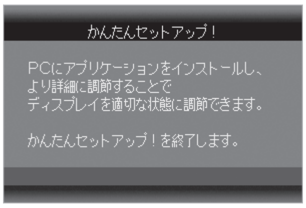
① 検出した結果を元に適切な「明るさ」「色温度」をディスプレイに設定に「する」「しない」を本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀ 調節（−）」「▶ 調節（+）」ボタンで選択します。
② 本体の「決定／入力切換」ボタンまたはリモコンの「決定」ボタンを押します。

「する」を選択した場合、検出した色温度にもっとも近い映像モード「PIC.1」〜「PIC.3」を選択し、明るさを設定します。

お知らせ

- 映像モード「PIC.1」〜「PIC.3」の色温度は、次のとおりです。
  PIC.1：5000K
  PIC.2：5500K
  PIC.3：6500K

5「かんたんセットアップ！」が終了する



OSD 画面が自動で消えます。本体の「戻る／色域制限」ボタンまたはリモコンの「戻る」ボタンでも消すことができます。

お知らせ

- 蛍光灯の種類などの条件によっては、ただしく検出できないことがあります。その場合は映像モード → P33 の調整をおこなってください。

お知らせ

- さらに精度の高い調節をするために付属のカラーキャリブレーションソフトウェア「EASYCOLOR！EXPERT2」をインストールすることを推奨します。
- 「かんたんセットアップ！」は「ツール」メニューの「初期設定に戻す」で本機を工場出荷状態に戻し、さらに電源プラグを電源コンセントから一旦抜いてから再度接続することで再実行します。

環境光について

写真をプリントした印刷物とディスプレイの色を合わせるには、ディスプレイの設置場所の環境光にも気を配る必要があります。印刷物の色は環境光が印刷物で反射した光が目に入ることで知覚されます。そのため、環境光が変わると印刷物の色や明るさも変わることになります。ディスプレイは画面自身が発光していますので、環境光の影響を受けません。
したがって、印刷物の色とディスプレイの色を合わせるには、環境光に合わせてディスプレイの色温度や明るさを調節することが大切です。
環境光には昼白色や昼光色の三波長型蛍光灯や高演色性（色評価用）の蛍光灯の使用を推奨します。

[準備 13] 画面調節

Windows® セットアップ情報

Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7、Windows® 8 用の「画面の設定」でご利用いただくためのファイル情報は、必要に応じて下記の当社ウェブサイトからダウンロードしてください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/download

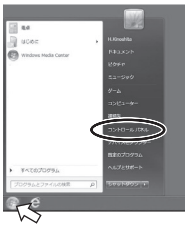
解像度を 1920 x 1200 に設定、確認する

お知らせ

- 解像度を 1920x1200 以外に設定した場合、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。

Windows® 7、Windows® 8 の場合（例）

1 画面左下の「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」をクリックする

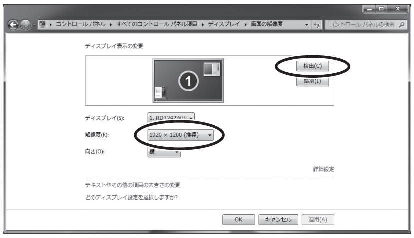


2「デスクトップのカスタマイズ」をクリックし、「画面の解像度の調整」をクリックする

「プロパティ画面」が表示されます。

3「プロパティ画面」で「ディスプレイを検出」ボタンをクリックし、「解像度 (R)」で「1920 × 1200（推奨）」を選択する

既に「1920 × 1200（推奨）」になっている場合は「OK」をクリックしてください。



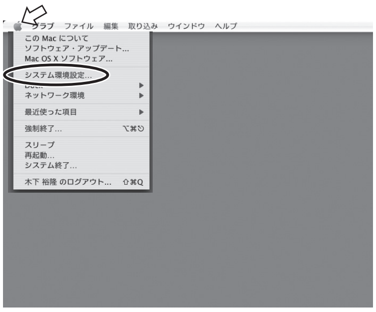
4「OK」をクリックする

ディスプレイの設定で解像度を変更しました。
「この設定を保存しますか？」のメッセージに従い、「はい」をクリックします。

※ Windows® 7、Windows® 8 の設定状態です。
Windows® の種類によってウィンドウの表示内容は異なります。

Macintosh（Mac OS X）の場合（例）

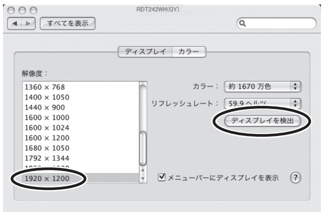
1 画面左上の「アップルマーク」をクリックし、「システム環境設定」を選択する



2「システム環境の設定」ウィンドウで「ディスプレイ」をクリックする

使用してるディスプレイの「プロパティ画面」が表示されます。

3「プロパティ画面」で「ディスプレイを検出」ボタンをクリックし、解像度リストから「1920 x1200」を選択する



※ Mac OS の種類によってウィンドウの表示内容は変わります。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

自動調節をする（アナログ接続のときのみ）

本機をコンピューターとアナログ接続の方法で接続したときは、最初に自動調節をおこないます。その後、更に調節をおこなう必要がある場合は各調節項目を個別に調節してください。→ P37

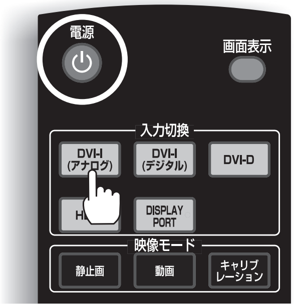
お知らせ

- 自動調節は適切な画面を表示するよう、画面のコントラスト、表示位置、水平サイズや位相を自動で調節します。デジタル接続では自動調節は不要です。
- OSD 画面を表示する方法など、操作のしかたの詳細については、「OSD の基本操作」→ P31 をご覧ください。

1 本機およびコンピューターの電源を入れる

お知らせ

- コンピューターの電源を入れる前にディスプレイの電源を入れてください。



2 本体の「決定／入力切換」ボタンまたはリモコンの入力切換「DVI-I (アナログ)」ボタンを押して、信号入力を「DVI-I(アナログ)」に切り換える

3 画面全体に文書ファイルの編集画面などの白い画像を表示する

4 自動調節をおこなう

① 本体の「メニュー／▼」ボタンまたはリモコンの「▼」ボタンを押して、OSD 画面を表示します。

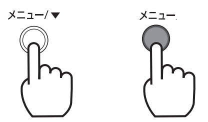
② 「◀」「▶」ボタンで「画面／サイズ」OSD 画面にします。

③ 「▼」ボタンで「自動調節」選択します。

④ 本体の「▶」ボタンまたはリモコンの「▶」ボタンを押して、「する」を選択します。

⑤ 本体の「決定／入力切換」ボタンまたはリモコンの「決定」ボタンを押して、自動調節を実行します。

入力された信号レベルに合わせて、自動調節を開始します。「実行中・・・」の表示が消えたら自動調節は完了です。



5 本体の「戻る／色域制限」ボタンまたはリモコンの「戻る」ボタンを 2 回押して、OSD 画面を消す

お 願 い

- DOS プロンプトのように文字表示のみの場合や画面いっぱいに画像が表示されていない場合は、自動調節がうまく機能しない場合があります。この場合は、手動調節でお好みの画面に調節してください。→ P37
- 白い部分が極端に少ない画像の場合は、自動調節がうまく機能しない場合があります。この場合は、手動調節でお好みの画面に調節してください。
- コンピューターやビデオカード、解像度によっては、自動調節がうまく機能しない場合があります。この場合は、手動調節でお好みの画面に調節してください。
- OSD メニューは、何も操作しないと 45 秒で消えてしまいます。操作が終了する前に OSD メニューが消えてしまった場合は、はじめから操作してください。なお、OSD メニューが自動的に消えるまでの時間は変更することができます。→ P42

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

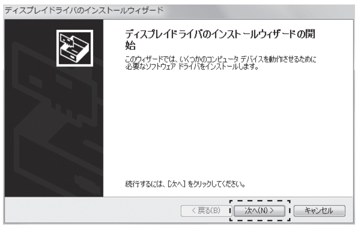
[準備 14] 付属ユーティリティーディスクのソフトウェアをインストールする [必要に応じて]

EASYCOLOR ! EXPERT2

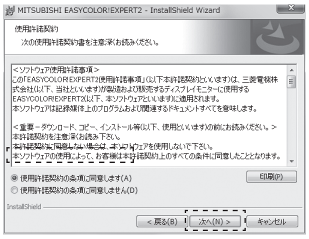
■ Windows ®の場合

① 付属のユーティリティーディスクをコンピューターの光学ドライブ（DVD ドライブなど）にセットする。

② 「マイコンピューター」から光学ドライブをダブルクリックし、その中の「Setup」をダブルクリックするとディスプレイドライバのインストールウィザード画面が表示されるので、「次へ」をクリックする。



③ インストールウィザードにしたがって操作し、途中で「使用許諾契約」の画面が表示されるので「使用許諾契約の条項に同意します」にチェックを入れて、「次へ」をクリックする。



④ ウィザードに従って、インストールを完了させる。

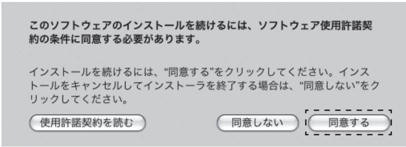
⑤ USB ケーブルをディスプレイとコンピューターに接続する。

■ Mac OS X の場合

① 付属のユーティリティーディスクをコンピューターの光学ドライブ（DVD ドライブなど）にセットし、インストーラーを起動する。

② 次のようなインストール画面が表示されるので、「続ける」をクリックする。

③ 「使用許諾契約」の画面で「続ける」をクリックすると、次のような画面が表示されるので「同意する」をクリックする。



④ ウィザードに従って、インストールを完了させる。

⑤ USB ケーブルをディスプレイとコンピューターに接続する。

お知らせ

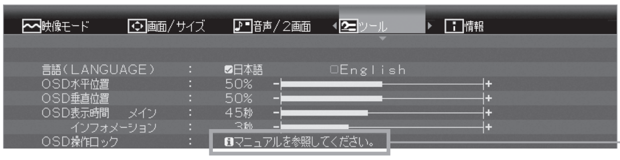
● 詳しいインストール方法は、別紙の「EASYCOLOR ! EXPERT2」取扱説明書を参照ください。
● USB ハブ機能のみを使用する場合は、本ソフトウェアをインストールする必要はありません。

機能

本機には画面の調節が簡単にできる OSD（On Screen Display）機能がついています。
OSD 機能により画面上に表示されるメニューを操作し、明るさなどの画面調節や、その他の設定をおこないます。

OSD 画面の構成

OSD 画面は、以下に示すような構成になっています。



グループアイコン
選択されているグループアイコンは青く表示されます。

選択項目
選択項目が青い背景で表示されます。その他の項目を選択する方法を示す▲▼◀▶が青い背景で表示された選択項目の上下左右に表示されます。

調節項目
調節できる項目は黄色で表示されます。調節や選択する方法を示す◀▶が両端に表示されます。
実行が必要な場合は、本体の「決定／入力切換」ボタンまたはリモコンの「決定」ボタンを押します。

スキップアイコン
スキップ設定をした項目に、このアイコンが表示されます。

<スキップ設定方法>
本体またはリモコンの「▼、▲、◀、▶」ボタンでスキップしたい項目を選択し、リモコンの「決定」ボタンを押して選択した項目にスキップアイコンが表示されたら、スキップが有効になります。もう一度「決定ボタンを押すと解除されスキップアイコンは消えます。

チェックアイコン
チェックが入っている調節項目が選択されています。

調節バー
選択されている項目の背景が青く表示されます。
本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀ 調節（−）」「▶ 調節（+）」ボタンで増減します。

黒色文字
映像入力または入力信号による使用制限のため使用できない場合、黒色文字になります。

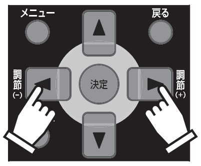
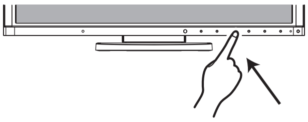
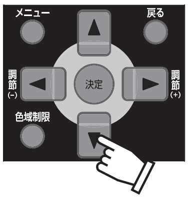
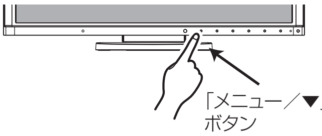
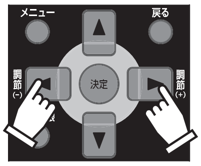
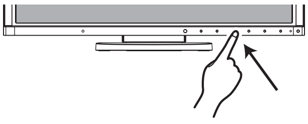
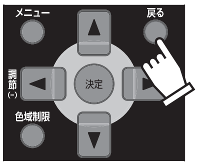
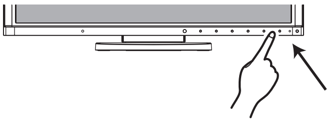
灰色文字
他の調節項目による使用制限のため使用できない場合、灰色文字になります。

ツリーアイコン
調節項目に対して更に詳細設定があることを示します。このとき本体の「▶」ボタンまたはリモコンの「決定」ボタンを押すと、詳細画面に移動します。

案内
次のページや制限、特別操作などがあるときは案内が表示されます。

OSD の基本操作

リモコンの「メニュー」ボタンまたは本体の「メニュー／▼」ボタンを押して、OSD画面を表示します。

リモコン操作	本体操作	OSD 画面
 「◀」「▶」ボタンで、調節する項目のグループアイコンを選択する	 本体正面よりボタンを操作する 「◀」「▶」ボタンで、調節する項目のグループアイコンを選択する	 選択したグループアイコンが青色になる
 「▼」ボタンで、調節する項目を選択する	 本体正面よりボタンを操作する 「メニュー／▼」ボタンで、調節する項目を選択する	 選択した項目が青色になる
 「◀」「▶」ボタンで、調節バーによる調節をする、もしくは選択メニューではお好みのモードに「チェックマーク」を入れる	 本体正面よりボタンを操作する 「◀」「▶」ボタンで、調節バーによる調節をする、もしくは選択メニューではお好みのモードに「チェックマーク」を入れる	 選択した調節項目の背景が黄色になったり、調節量表示サイドバーが増減する
 「戻る」ボタンで、グループアイコン選択OSD画面に戻す	 本体正面よりボタンを操作する 「戻る／色域制限」ボタンで、グループアイコン選択OSD画面に戻す	 グループアイコン選択OSD画面になる

もう一度、リモコンの「戻る」ボタンまたは本体の「戻る／色域制限」ボタンを押すと、OSD画面が消えます。

グループの構成

各グループの構成は以下のようになっています。選択項目の詳細については次ページ以降に記載しています。
映像入力または入力信号による使用制限のため使用できない場合、黒色文字になります。

使用できません
*1：DVI-I アナログ入力
*2：DVI-I デジタル入力
*3：DVI-D 入力
*4：HDMI 入力
*5：DisplayPort 入力

映像モード

静止画モード（sRGB、PIC.1 ～ 3）
動画モード（CG、TV.1 ～ 3）
キャリブレーション (NATIVE、CAL.1 ～ 3)
→ P33

明るさ
色域設定
ガンマ
プリセットガンマ
色温度
色かぶり補正
RGB ゲイン
RGB オフセット
黒レベル
色あい
色のこさ
シャープネス
ディテールエンハンサ
コントラスト
ブラックオフセット
黒白伸張
自動明るさ調節
親 (子) 画面設定のコピー
映像モードリセット

キャリブレーション(CAL.1 ～ 3)
(EASYCOLOR ! EXPERT2 を使用してキャリブレーションした場合) → P36

ターゲット情報
色あい
色のこさ
シャープネス
ディテールエンハンサ
CAL. リセット

情報 → P45

製品情報
入力信号

画面／サイズ → P37

自動調節	*2、3、4、5
アナログ（黒レベル）	*2、3、4、5
アナログ（白レベル）	*2、3、4、5
水平位置	*2、3、5
垂直位置	*2、3、5
水平サイズ	*2、3、4、5
位相	*2、3、4、5
解像度切換	*2、3、4、5
画面サイズ	
アスペクト比	*1、2、3、5
オーバースキャン	*1、2、3、5
スキャン率	*1、2、3、5
画面回転（親画面）	
画面回転（子画面）	
リセット	

音声／ 2 画面 → P40

2 画面設定
子画面入力切換
PinP サイズ
PinP 位置
PbyP サイズ
PbyP 位置
音声選択
高音
低音
バランス
スピーカー音量
ヘッドホン音量
消音
リセット

ツール → P42

言語（LANGAGE）	
OSD 水平位置	
OSD 垂直位置	
OSD 表示時間 メイン	
OSD 表示時間インフォメーション	
OSD 操作ロック	
ムラ補正	
オーバードライブ	
電源ランプ明るさ	
ホットキー	
DDC/CI	
EDID 切換	*1、4、5
USB 切換	
シンク設定	*1、5
サイドボーダーカラー R	
サイドボーダーカラー G	
サイドボーダーカラー B	
電源自動オフ	
オフタイマー	
初期設定に戻す	

お知らせ

● 本機は一般的なコンピューターと「デジタル接続」した場合は、自動的に適切な画面を表示します。「アナログ接続」でも自動調節により適切な画面を表示します。→ P28

OSD 機能一覧

映像モード

静止画モードの例

動画モードの例

キャリブレーションモードの例

詳細画面の例

■ 映像モード

【静止画モード】

sRGB： 色再現国際規格 sRGB に対応した色域を再現します。

PIC.1 ～ 3：写真の編集やレタッチなどに適した設定です。

【動画モード】

CG： コンピューターグラフィックの制作作業に適した設定です。

TV1 ～ 3： 映像制作やテレビ番組の視聴などに適した設定です。

【キャリブレーション】

NATIVE： 液晶パネルの本来の色あいで表示されます。

CAL.1 ～ 3：EASYCOLOR！EXPERT2 でキャリブレーションを実施したかどうかで表示が異なります。

＜キャリブレーションを実施していない場合＞
初期設定では NATIVE と同じ状態ですが、画質調節が可能です。

＜キャリブレーションを実施している場合＞
EASYCOLOR！EXPERT2 でキャリブレーションした設定になります。→ P36

お知らせ

● 映像モードの各項目の工場出荷値は → P35 を参照ください。
● 映像モードによって、調節できる項目が異なります。下表で「×」の項目は調節できません。

選択項目	sRGB	PIC.1 ～ 3	CG	TV.1 ～ 3	NATIVE	CAL.1 ～ 3 出荷設定	CAL.1 ～ 3 ECE2※
明るさ	●	●	●	●	●	●	×
色域設定	×	●	●	●	×	●	×
ガンマ	×	●	●	●	×	●	×
プリセットガンマ	×	●	●	●	×	●	×
色温度	×	●	●	●	×	●	×
色かぶり補正	×	●	●	●	×	●	×
RGB ゲイン	×	●	●	●	×	●	×
RGB オフセット	×	●	●	●	×	●	×
黒レベル	×	●	●	●	×	●	×
色あい	×	●	●	●	×	●	●
色のこさ	×	●	●	●	×	●	●
シャープネス	×	●	●	●	×	●	●
ディテールエンハンサ	×	●	●	●	×	●	●
コントラスト	×	●	●	●	×	●	×
ブラックオフセット	×	●	●	●	×	●	×
黒白伸張	×	●	●	●	×	●	×
自動明るさ調節	●	●	●	●	●	●	×
親（子）画面設定のコピー	→ P35						

※ ECE2：EASYCOLOR！EXPERT2 でキャリブレーションを実施した場合 → P36

■ 明るさ

明るさの調節量が調節バーで確認できます。
本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（－）」「▶調節（+）」ボタンで調節してください。

リモコンの明るさボタンでも調節できます。

お知らせ

● 明るさを明るく調整した場合は、色温度によっては画面の明るさが変化しないことがあります。

■ 色域設定

静止画モード、キャリブレーションモードの場合は「切」「sRGB」「Adobe® RGB」の３種類から、動画モードの場合は「切」「BT.709」「NTSC」「DCI」の４種類から選択できます。
本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（－）」「▶調節（+）」ボタンで、色域を選択してください。

切：　液晶パネル本来の色域で表示します。
sRGB：　色再現国際規格 sRGB に対応した色域で表示します。
Adobe® RGB：sRGB より広い Adobe® RGB に対応した色域で表示します。
BT.709：　HDTV 規格に対応した色域で表示します。
NTSC：　アナログテレビ放送規格に対応した色域で表示します。
DCI：　デジタルシネマ標準規格である DCI に対応した色域で表示します。

お知らせ

●「切」は「Adobe® RGB」の約 108%の色域（カバー率 98%）になります。
● 色域設定により切り換えて表示できる色域は、パネルの色域を超えて表示することはできません。
●「色域制限」機能 → P48 が「入」の場合、調節できません。

■ ガンマ

階調（ガンマ）特性をお好みに応じて本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（－）」「▶調節（+）」ボタンで調節してください。USER に設定するとプリセットガンマの調節ができます。
設定範囲：1.8、2.0、2.2、2.4、2.6、USER

■ プリセットガンマ

「C カーブ」「S カーブ」「オプション」の３種類から選択できます。お好みの画像になるように本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（－）」調節（+）」ボタンで選択してください。

C カーブ：　暗部が見えにくいゲームや映画などで設定すると、暗部のディテールが見えやすくなります。
S カーブ：　コントラスト感を強調したガンマ特性です。テレビ視聴時などメリハリのある映像になります。
オプション

お知らせ

● ガンマを USER に設定した場合、調節できます。

■ 色温度

画面の色温度を 100K ステップで調節できます。周囲の環境光に合わせて、またはお好みに応じて本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（－）」「▶調節（+）」ボタンで調節してください。USER に設定すると RGB ゲインと RGB オフセットで色温度をお好みで調節できます。
リモコンの色温度ボタンでも調節できます。
設定範囲：2600K ～ 10000K

■ 色かぶり補正

画面の色温度を環境光に合わせて調節しても、画面と印刷物の見え方が異なる場合に調節します。
印刷物が画面より緑がかっていれば緑（－）方向に、マゼンタがかっていればマゼンタ(+)方向に調節してください。
緑方向またはマゼンタ方向の補正を本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（－）」「▶調節（+）」ボタンで調節してください。
リモコンの色かぶり補正ボタンでも調節できます。

■ RGB ゲイン

赤、緑、青の濃さを調節することで白側の色味を変えることができます。
本体の「▶」または「決定／入力切換」ボタンもしくはリモコンの「▶調節（+）」または「決定」ボタンを押すと、詳細画面に移動します。
詳細画面で RGB ゲインを本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（－）」「▶調節（+）」ボタンで調節してください。

お知らせ

● 色温度を USER に設定した場合のみ調節できます。

■ RGB オフセット

赤、緑、青の色が出始める点を調節することで黒側の色味を変えることができます。
本体の「▶」または「決定／入力切換」ボタンもしくはリモコンの「▶調節（+）」または「決定」ボタンを押すと、詳細画面に移動します。
詳細画面で RGB オフセットを本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（－）」「▶調節（+）」ボタンで調節してください。

お知らせ

● 色温度を USER に設定した場合のみ調節できます。

■ 黒レベル

黒の輝度をお好みに合わせて調節します。
本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（－）」「▶調節（+）」ボタンで黒レベルを調節してください。

■ 色あい

色あい（色相）を調節します。
本体の「▶」または「決定／入力切換」ボタンもしくはリモコンの「▶調節（+）」または「決定」ボタンを押すと、詳細画面に移動します。
R（赤）Y（黄）G（緑）C（シアン（水色））B（青）M（マゼンタ（赤紫））の６色それぞれの色合いを本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（－）」「▶調節（+）」ボタンでお好みの色合いに調節してください。

■ **色のこさ**

色の濃さ（彩度）を調節します。
本体の「▶」または「決定／入力切換」ボタンもしくはリモコンの「▶調節（+）」または「決定」ボタンを押すと、詳細画面に移動します。
R（赤）Y（黄）G（緑）C（シアン（水色））B（青）M（マゼンタ（赤紫））の 6 色それぞれの色のこさを本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（－）」「▶調節（+）」ボタンで調節してください。

■ **シャープネス**

シャープネスの調節量が調節バーで確認できます。
本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（－）」「▶調節（+）」ボタンで調節してください。

■ **ディテールエンハンサ**

画像や動画をより解像度感を高めた映像に変換します。低解像度の画像や動画を視聴する際に、クッキリとした解像感を得ることができます。
本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（－）」「▶調節（+）」ボタンで調節してください。

■ **コントラスト**

ハイライト部の階調特性をお好みに調節します。
コントラストの調節量が調節バーで確認できます。
本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（－）」「▶調節（+）」ボタンで調節してください。

■ **ブラックオフセット**

暗部の階調特性をお好みに調節します。
本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（－）」「▶調節（+）」ボタンで調節してください。

■ **黒白伸張**

入力映像に対して、黒白伸張をおこなうかどうかを選択します。本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（－）」「▶調節（+）」ボタンで選択してください。

入： ゲーム機器や DVD プレーヤーの映像を視聴する場合に選択してください。黒白伸張され、16 ～ 235 階調で入力された信号を 0 ～ 255 階調で表示します。
切： コンピューターの映像を視聴する場合に選択してください。黒白伸張はおこないません。

お知らせ

- 映像が黒浮きしているような場合は、「入」を選択してください。
- 映像の黒領域、白領域の階調がつぶれているような場合は、「切」を選択してください。

■ **自動明るさ調節**

自動明るさ調節の設定が選択できます。
本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（－）」「▶調節（+）」ボタンで、「入」「切」を設定してください。

入： 室内の明るさに応じて適切な画面の明るさにします。
切： 自動明るさ調節をおこないません。

■ **親（子）画面設定のコピー**

リモコンの画面選択で選択されている親または子の映像設定を他方の画面にコピーして設定します。詳細は「画面選択機能」→ P47 をご覧ください。

お知らせ

- 子画面を表示しているときのみ選択できます。
- 映像モードによってコピーできる設定が異なります。

■ **静止画モード（sRGB、PIC.1 ～ 3）／動画モード（CG、TV.1 ～ 3）／キャリブレーション（Native、CAL.1 ～ 3）リセット**

しない： 各映像モードで設定した内容を保持します。
する： 各映像モードで設定した内容を工場出荷状態に戻します。

各映像モードの出荷設定

設定項目	映像モード									
	静止画モード				動画モード				キャリブレーション	
	sRGB	PIC.1	PIC.2	PIC.3	CG	TV.1	TV.2	TV.3	NATIVE	CAL.1 ～ 3
明るさ（cd/m^2）	約 80	約 120			約 80	(100%)		約 120	(100%)	(100%)
色域設定	sRGB 固定	Adobe® RGB			BT.709	BT.709	NTSC	DCI	切 (NATIVE)	切 (NATIVE)
ガンマ	2.2 固定	2.2			2.2	USER	2.2	2.6	NATIVE	2.2
プリセットガンマ	–	–	–	–	–	S カーブ	–	–	–	–
色温度（K）	6500 固定	5000	5500	6500	6500	9300	9300	6300	NATIVE	USER (NATIVE)
色かぶり補正（%）	–	50			50	50			–	50
RGB ゲイン（%）	–	–			–	–			–	100
RGB オフセット（%）	–	–			–	–			–	100
黒レベル（%）	–	0			0	0			–	0
色あい（%）	–	0			0	0			–	0
色のこさ（%）	–	0			0	0			–	0
シャープネス（%）	–	50			50	50			–	50
ディテールエンハンサ（%）	–	0			0	0			–	0
コントラスト（%）	–	50			50	50			–	50
ブラックオフセット (%)	–	50			50	50			–	50
黒白伸張	–	切			切	切			–	切
自動明るさ調節	切	切			切	切			切	切

お知らせ

- 「NATIVE」液晶パネルが本来持っている特性で表示します。
- 出荷設定に戻すには、各映像モードにあるリセットを実施するか、「ツール」－「初期設定に戻す」→ P44 を実施します。

～ EASYCOLR ! EXPERT2 を使用してキャリブレーションした場合～

付属のカラーキャリブレーション統合ソフトウェア「EASYCOLOR ! EXPERT2」を使用してキャリブレーションした場合、キャリブレーションのCAL.1 ～ 3（1 ～ 3のどれに設定するかはソフトウェアで選択）にキャリブレーションした結果が設定され、通常の表示とは異なります。

キャリブレーションモードの例

詳細画面の例

■ ターゲット情報

EASYCOLOR!EXPERT2 でキャリブレーションしたターゲット情報が表示されます。

明るさ
色域設定
ガンマ
白色点
黒レベル

お知らせ

- 付属ソフトウェアのEASYCOLOR ! EXPERT2 のトーンカーブエディターでガンマを調節した場合は、ガンマが「カスタム」になります。
- 付属ソフトウェアのEASYCOLOR ! EXPERT2 でキャリブレーションした結果に対して、次の項目が調節可能です。

□ **色あい** → P34
□ **色のこさ** → P35
□ **シャープネス** → P35
□ **ディテールエンハンサ** → P35

■ キャリブレーション（CAL.1 ～ 3）リセット

しない： EASYCOLOR ! EXPERT2 でのキャリブレーション設定値とキャリブレーションモード画面（CAL.1 ～ 3）で設定した内容を保持します。

する： EASYCOLOR ! EXPERT2 でのキャリブレーション設定値とキャリブレーションモード画面（CAL.1 ～ 3）で設定した内容を工場出荷状態に戻します。

画面／サイズ

■ 自動調節

左右、上下方向の表示位置、水平サイズや位相を自動調節します。自動調節の詳しい手順については「自動調節をする」→ P28 をご覧ください。

お知らせ

- DVI-I アナログ信号入力の場合のみ調節できます。

■ アナログ（黒レベル）

黒レベルの調節量が調節バーで確認できます。
本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（−）」「▶調節（+）」ボタンで調節してください。

お知らせ

- DVI-I アナログ信号入力の場合のみ調節できます。

■ アナログ（白レベル）

白レベルの調節量が調節バーで確認できます。
本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（−）」「▶調節（+）」ボタンで調節してください。

お知らせ

- DVI-I アナログ信号入力の場合のみ調節できます。

■ 水平位置

表示画面の水平位置が調節できます。
本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（−）」「▶調節（+）」ボタンで左右方向へ動かしてください。

お知らせ

- DVI-D 入力、DVI-I（デジタル）入力、DisplayPort 入力の場合は、調節できません。
- HDMI 入力の場合は、オーバースキャン動作時（100%フル以外）に調節できます。

■ 垂直位置

表示画面の垂直位置が調節できます。
本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（−）」「▶調節（+）」ボタンで上下方向へ動かしてください。

お知らせ

- DVI-D 入力、DVI-I（デジタル）入力、DisplayPort 入力の場合は、調節できません。
- HDMI 入力の場合は、オーバースキャン動作時（100%フル以外）に調節できます。

■ 位相

画面に横方向のノイズが表示されたり、文字のにじみ、輪郭のぼやけが起こった場合に調節します。
本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（−）」「▶調節（+）」ボタンで調節してください。

お知らせ

- DVI-I アナログ信号入力の場合のみ調節できます。

■ 解像度切換

「1024 x 768」「1280 x 768」「1360×768」「1280 × 1024」「1400 x 1050」「1680×1050」「1600 × 1200」「1920 × 1200」の入力信号の解像度を、直接指定することができます。
上記の入力信号に対しては、解像度を正しく自動判別できない場合があります。
その場合、本機能にて直接解像度を指定することにより、指定の解像度で表示することができます。

お知らせ

- OSD 上に表示されている解像度以外の信号（例：640 × 480）が入力された場合、本機能は機能しません。
- DVI-I アナログ信号入力の場合のみ調節できます。

■ 画面サイズ

自動的に表示画面を拡大する機能です。入力信号の解像度が表示画素数より低い場合に機能します。
オーバースキャン動作時は、選択された画面サイズに対してオーバースキャン表示をします。

フル： 入力映像信号を画面全体に拡大します。アスペクト比（縦横比率）が 16：10 以外の信号が入力された場合、アスペクト比が変わります。

アスペクト： 入力映像信号のアスペクト比を保持したまま、できるだけ画面いっぱいに映像信号を拡大します。
このため、入力される映像信号によっては、表示画面の縦または横方向に黒帯ができます。

2x ズーム： 入力映像信号の解像度を縦横 2 倍に拡大表示します。
縦横 2 倍拡大できない映像信号が入力された場合は、「リアル」と同じ動作となります。

リアル： 入力映像信号の解像度のままで表示します。（画面は拡大されません。）

お知らせ

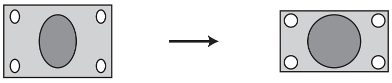
- 設定は映像入力信号ごとに記憶されます。
- 2 画面設定の PbyP → P40 で表示している場合は、下記のようになります。
  - **フル：** 親画面を画面の半分に拡大します。
  - **アスペクト：** アスペクト比を保って、親画面を画面の半分に拡大します。
  - **2x ズーム：** 選択できません。
  - **リアル：** 選択できません。
- リモコンの「画面サイズ」ボタンで呼び出すこともできます。

■ アスペクト比

「アスペクト」「2x ズーム」「リアル」でアスペクト比が保持されていないときに調節します。「自動」を手動設定で「4：3」「16：9」に切り換えてください。

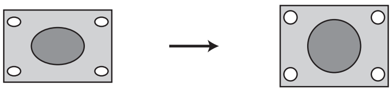
自動： NTSC4：3 と NTSC スクイーズの映像信号を自動で真円になるように調節します。

16：9： 画面を垂直方向に 0.84 倍、縮小します。
NTSC スクイーズの映像信号が真円になります。
その他の映像信号では円が縦につぶれます。



NTSCスクイーズの映像信号　→　NTSCスクイーズの映像信号を16：9で調節した画面

4：3： 画面を垂直方向に 1.125 倍、拡大します。
NTSC4：3 の映像信号が真円になります。
その他の映像信号では円が横につぶれます。



NTSC4：3の映像信号　→　NTSC4：3の映像信号を4：3で調節した画面

お知らせ

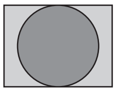
- HDMI の SD（480i、480p）信号が入力されたときのみ調節できます。
- リモコンの「アスペクト」ボタンで呼び出すこともできます。この機能が操作できない場合は「おしらせ」OSD 画面を表示します。

- 子画面のアスペクト比は自動で調節します。手動設定はできません。

■ オーバースキャン

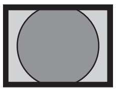
オーバースキャンを設定します。
AV 信号を表示する場合、映像によっては画面の周囲にノイズが見えることがあります。「オーバースキャン」の設定を変更することで、画面の外周部をカットし、ノイズを隠すことができます。

フル：
入力された映像をそのまま表示します。
画面サイズ → P38 で選択されたサイズに対してフル表示します。
入力される映像によっては、画面の外周部にノイズが見えることがあります。



NTSC4：3の映像信号をフルで表示した画面

オーバースキャン：
入力された映像の周囲をオーバースキャン率で設定した値でカットし、元映像を表示します。
「フル」の設定で画面の外周部にノイズが見える場合は、「オーバースキャン」を選択、スキャン率を 100% 未満に設定してください。
画面サイズ → P38 で選択されたサイズに対して周囲をオーバースキャン率で設定した値でカットして表示します。



（例）98%で調節された画面のイメージ

お知らせ

- HDMI の AV タイミング（1080p/1080i/720p/480p/480i）信号が入力された場合のみ調節できます。
- 「オーバースキャン」を選択し、スキャン率を 100% 未満に設定すると、画面位置が調節できるようになります。
- リモコンの「オーバースキャン」ボタンで呼び出すこともできます。この機能が操作できない場合は「おしらせ」OSD 画面を表示します。

■ スキャン率

オーバースキャンのスキャン率を 80% 以上で調節できます。
本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（－）」「▶調節（＋）」ボタンで調節してください。

■ **画面回転 (親画面)**

「切」「入」が選択できます。「入」にすると親画面が左90°回転して表示されます。
ディスプレイの縦型で使用した場合に設定します。
本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（−）」「▶調節（+）」ボタンで選択してください。

お知らせ

- 「画面サイズ」が「フル」、「アスペクト」の場合のみ回転できます。
- インタレース信号を画面回転した場合、画面がちらつくなど表示が乱れます。「おしらせ」OSD 画面でもお知らせします。

■ **画面回転 (子画面)**

「切」「入」が選択できます。「入」にすると子画面が左90°回転して表示されます。
ディスプレイの縦型で使用した場合に設定します。
本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（−）」「▶調節（+）」ボタンで選択してください。

お知らせ

- 子画面が PbyP で表示されている場合、有効になります。
- インタレース信号を画面回転した場合、画面がちらつくなど表示が乱れます。「おしらせ」OSD でもおしらせします。

■ **リセット**

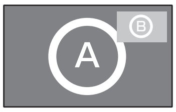
しない：「画面／サイズ」グループ内で設定した内容を保持します。
する：「画面／サイズ」グループ内で設定した内容を工場出荷状態に戻します。

音声／2 画面

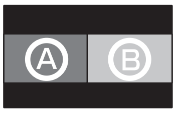
■ 2 画面設定

「切」「PinP」「PbyP」の 3 種類から選択できます。
本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（−）」「▶調節（+）」ボタンで、子画面の表示方法を選択してください。

切： 子画面を表示しません。
PinP： 親画面の中に子画面を表示します。



PbyP： 親画面の横に子画面を表示します。



お知らせ

- 親画面の画面サイズが「2x ズーム」または「リアル」に設定されている場合、PbyP は選択できません。
- リモコンの「子画面」-「2 画面設定」ボタンでも設定できます。
- 映像信号の垂直周波数が 60 Hz 以外の場合、2 画面表示できない場合があります。

■ 子画面入力切換

子画面に表示させたい映像入力を選択します。

2 画面表示可能な、親画面と子画面の組み合わせ

子画面 / 親画面	DVI-I（アナログ）	DVI-I（デジタル）	DVI-D	HDMI	Display Port
DVI-I（アナログ）	○	×	○	○	○
DVI-I（デジタル）	×	○	○	○	○
DVI-D	○	○	○	×	○
HDMI	○	○	×	○	○
DisplayPort	○	○	○	○	○

お知らせ

- 子画面の音声を出力させたい場合は、OSD 機能の「音声」の「音声選択」を「子画面連動」に設定してください。
- リモコンの「子画面」-「入力切換」ボタンでも設定できます。この機能が操作できない場合は「おしらせ」OSD を表示します。

■ PinP サイズ

「小」「中」「大」の 3 種類から選択できます。
子画面の大きさを設定します。映像信号の種類によって、適切な縦横比で、子画面表示します。

サイズ ＼ 映像信号	4：3	16：9	16：10
小	320 × 240	426 × 240	384 × 240
中	480 × 360	640 × 360	576 × 360
大	720 × 540	960 × 540	864 × 540

本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（−）」「▶調節（+）」ボタンで、子画面の PinP サイズを選択してください。

お知らせ

- リモコンの「子画面」-「サイズ」ボタンでも設定できます。この機能が操作できない場合は「おしらせ」OSD を表示します。

■ PinP 位置

「右上」「右下」「左下」「左上」の 4 種類から選択できます。
本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（−）」「▶調節（+）」ボタンで子画面の PinP 位置を選択してください。

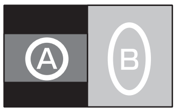
お知らせ

- リモコンの「子画面」-「位置」ボタンでも設定できます。この機能が操作できない場合は「おしらせ」OSD を表示します。

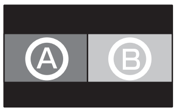
■ PbyP サイズ

「フル」「アスペクト」の 2 種類から選択できます。
本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（−）」「▶調節（+）」ボタンで、子画面の PbyP サイズを選択してください。

フル



アスペクト



お知らせ

- 親画面のサイズは「画面／サイズ」の「画面サイズ」で選択してください。→ P38
- PbyP サイズは映像入力信号に関係なく共通の設定になります。
- リモコンの「子画面」-「サイズ」ボタンでも設定できます。この機能が操作できない場合、「おしらせ」OSD を表示します。

■ PbyP 位置

「左」「右」の 2 種類から選択できます。
本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（−）」「▶調節（+）」ボタンで、子画面の PbyP 位置を選択してください。

お知らせ

- リモコンの「子画面」-「位置」ボタンでも設定できます。この機能が操作できない場合、「おしらせ」OSD を表示します。

■ 音声選択

音声入力を選択します。
本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（−）」「▶調節（+）」ボタンで、音声を選択してください。

親画面連動：
親画面の映像入力が切り換わると、連動して音声入力も切り換わります。

子画面連動：
子画面の映像入力が切り換わると、連動して音声入力も切り換わります。子画面が表示されていない場合は、親画面の音声入力に切り換わります。

PC、HDMI、DP（DisplayPort）：
お好みの音声入力を選ぶことができます。また、映像入力を切り換えても音声入力は切り換わりません。

お知らせ

- 映像入力に DVI-D が選択されている場合、HDMI 音声の出力はできません。
- 2 画面表示している場合、親または子画面に HDMI 映像が表示されていないとき、HDMI 音声の出力はできません。出力できない組み合わせの場合、「おしらせ」OSD でおしらせします。
- HDMI および DP（DisplayPort）の音声を選択したとき、すぐに音声が出力されない場合があります。

■ 高音

高音の調節量が調節バーで確認できます。
本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（−）」「▶調節（+）」ボタンで、高音を調節してください。

■ 低音

低音の調節量が調節バーで確認できます。
本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（−）」「▶調節（+）」ボタンで、低音を調節してください。

■ バランス

音声の左右バランスの調節量が調節バーで確認できます。
本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（−）」「▶調節（+）」ボタンで、左右の音のバランスを調節します。
◀方向に動かすと左の音声が大きくなり、▶方向に動かすと右の音声が大きくなります。

■ スピーカー音量

スピーカー音量の調節量が調節バーで確認できます。
本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（−）」「▶調節（+）」ボタンで、音量を調節します。

お知らせ

- 本機は二重音声（二カ国語音声）には対応しておりません。
- リモコンの音量ボタンでも調節できます。

■ ヘッドホン音量

ヘッドホン音量の調節量が調節バーで確認できます。
本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（−）」「▶調節（+）」ボタンで、音量を調節します。

お知らせ

- 本機は二重音声（二カ国語音声）には対応しておりません。
- ヘッドホン接続時のみ調節できます。

■ 消音

本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（−）」「▶調節（+）」ボタンで、消音機能の「しない」「する」を選択します。

お知らせ

- リモコンで消音にすると消音アイコンが約 3 秒表示され、消えます。

解除するには、消音機能を「しない」にするか、リモコンの「消音」ボタン、または「音量」ボタンを押してください。

■ リセット

しない：「音声／2 画面」グループ内で設定した内容を保持します。
する：「音声／2 画面」グループ内で設定した内容を工場出荷状態に戻します。

ツール

■ 言語（LANGUAGE）

OSD 画面の表示言語を切り換えます。
日本語と英語（English）が選択できます。

■ OSD 水平位置

OSD 画面をお好みの位置に調節してください。

■ OSD 垂直位置

OSD 画面をお好みの位置に調節してください。

■ OSD 表示時間

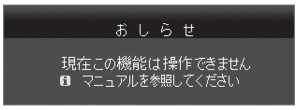
メイン

OSD 画面を表示させた後、OSD 画面が自動的に消える時間を設定する機能です。
10 秒から 120 秒まで、5 秒ごとの設定が可能です。

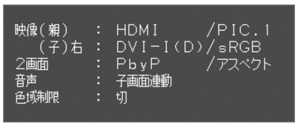
インフォメーション

入力情報 OSD 画面、おしらせ OSD 画面、サブ OSD 画面 → P45 などの表示時間を設定します。設定された時間になると、OSD 画面が自動的に消えます。
1 秒から 10 秒まで、1 秒ごとの設定が可能です。
「切」に設定すると入力情報 OSD 画面は表示されなくなり、おしらせ OSD 画面やサブ OSD 画面は 3 秒に設定されます。

入力情報 OSD 画面



おしらせ OSD 画面



サブ OSD 画面

■ OSD 操作ロック

誤って調節してしまうことを防ぐための OSD 画面操作をロックさせる機能です。ロックの設定／解除の操作は、リモコンではできません。以下の手順にしたがって、本体のボタンで操作してください。

<ロックの設定>

OSD 画面を表示し、「ツール」の「操作ロック」が選択されている状態で本体の「▶」ボタンを押しながら「戻る／色域制限」ボタンを押すとロックが完了します。

<ロックの解除>

「操作ロック」の OSD を表示させ再び本体の「▶」ボタンを押しながら「戻る／色域制限」ボタンを押すと操作ロックは解除されます。

お知らせ

- ロック中、リモコンは入力切換と電源ボタン以外操作できません。
- ロック中は、本体ボタンでの入力切換、電源入／切、色域制限、「◀」「▶」ボタン（ホットキー「入」のとき）による明るさと音量の調節ができる状態になります。
- 操作ロック中は以下の「OSD 操作ロック中」OSD 画面が表示されます。

■ ムラ補正

色ムラや輝度ムラを補正して輝度と色度が均一になるように画面全体を表示します。
切：ムラ補正しません。
入：ムラ補正します。
本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（−）」「▶調節（+）」ボタンで「入」「切」を選択してください。

お知らせ

- ムラ補正を「入」に設定した場合、最大輝度が暗くなります。

■ **オーバードライブ**

「入」に設定すると、動きの早い映像のぼやけ感を改善します。
本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（−）」「▶調節（+）」ボタンで「入」「切」を選択してください。

お知らせ

- オーバードライブが「入」の場合、コンテンツによってはノイズやチラつきなどが発生することがあります。その場合は「切」に設定してください。

■ **電源ランプ明るさ**

電源ランプの明るさを調節バーで確認できます。
本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（−）」「▶調節（+）」ボタンで電源ランプをお好みの明るさに調節してください。

■ **ホットキー**

ホットキー設定を有効にする場合は､｢入｣にしてください。
◀ボタン：明るさ → P34
▶ボタン：音量 → P41

■ **DDC/CI**

DDC/CI → P60 通信による各種操作を制限する機能です。
DDC/CI 通信を入／切します。

■ **EDID 切換**

信号入力ソースによって、EDID を切り換えることができます。EDID とはディスプレイ本体に格納された、ディスプレイ固有の特性情報であり、コンピューターからの出力信号の対応情報と、AV 機器等からの出力信号の対応情報が異なるため、切り換えをおこないます。
デジタル PC：コンピューターのデジタル信号
デジタル HD：AV 機器等のデジタル信号

お知らせ

- DVI-D および DVI-I（デジタル）の場合のみ選択できます。
- 入力信号が無い場合の EDID 切換方法
  本体の「決定／入力切換」ボタンを押し、画面に EDID を切り換えたい入力信号の「映像入力信号がありません。」が表示されているときに本体の「▶」ボタンを 5 秒以上長押しすると選択している入力に対する EDID 切換画面が表示されます。本体の｢メニュー／▼｣「▲」ボタンで EDID を切り換えてください。本体の「戻る／色域制限」ボタンを押すと、画面が「映像入力信号がありません。」に戻ります。

■ **USB 切換**

映像信号入力ごとに 2 台のパソコンの USB アップストリームを選択します。これにより映像入力信号の切り換えに連動して USB アップストリームが切り換わり、2 台のパソコンでキーボードやマウスを共有して使用できます。
USB1：ポート 1（内側）の USB アップストリームを選択します。
USB2：ポート 2（外側）の USB アップストリームを選択します。

お 願 い

- 機器を破損させたり、記憶装置のデータを消失する場合がありますので、USB のダウンストリームに接続されている機器はすべて取り外した状態で設定してください。

■ **シンク設定**

DVI-D 入力、DVI-I（デジタル）入力および HDMI 入力でデジタル接続する際の制御信号の種類を設定します。
設定は選択している入力に対してのみ可能で、DVI-D 入力、DVI-I（デジタル）入力および HDMI 入力個別に設定できます。（入力信号が無い場合の設定は、「お知らせ」を参照ください。）
「1」：通常はこちらの設定にします。
「2」：[1] に設定していて、コンピューターや AV 機器などの映像が正常に表示されない場合に設定します。設定後、コンピューターや AV 機器などを再起動してください。

お知らせ

- DVI-I（アナログ）および DisplayPort の場合は、設定できません。
- 入力信号が無い場合のシンク設定方法
  本体の「決定／入力切換」ボタンを押し、画面にシンク設定を切り換えたい入力信号の「映像入力信号がありません。」が表示されているときに本体の「メニュー／▼」ボタンを 5 秒以上長押しすると選択している入力に対するシンク設定画面が表示されます。シンク設定の設定値「1」または｢2｣を本体の｢◀｣｢▶｣ボタンで選択し、本体の「戻る／色域制限」ボタンを押すと、画面が「映像入力信号がありません。」に戻ります。その後、コンピューターまたは AV 機器を再起動してください。

■ **サイドカラー**

画面サイズでフル以外を選択した場合の画像のない部分の色を調節します。
R、G、B の中から色を選択し、それぞれの色を調節します。

■ **電源自動オフ**

信号入力が無い場合の自動電源オフモードの設定をします。

切：自動電源オフしません。
入：信号入力が無くなってから約 30 分後に電源オフします。

お願い

● この機能を使用して電源をオフすると、機器を破損させたり、記憶置のデータを消失する場合がありますので、USB のダウンストリームに接続されている機器はすべて取り外してください。

お知らせ

● 本機能動作後は、電源オフされているため、再度ご使用される場合は、電源ボタンを押して本機の電源を「入」にしてください。

■ **オフタイマー**

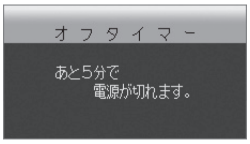
「15 分」「30 分」「60 分」「90 分」「120 分」の中から選択した時間を経過後に、自動的に電源を切ります。

お願い

● この機能を使用して電源をオフすると、機器を破損させたり、記憶置のデータを消失する場合がありますので、USB のダウンストリームに接続されている機器はすべて取り外してください。

お知らせ

● オフタイマーで画面が消える前には以下のような警告 OSD 画面が表示されます。



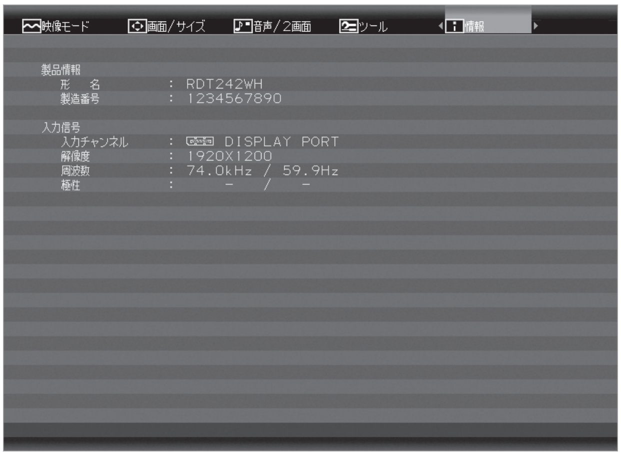
■ **初期設定に戻す**

「映像モード」、「画面／サイズ」、「音声／2 画面」、「ツール」の各設定を工場出荷状態に戻します。

お知らせ

●「言語」「シンク設定」はリセットされません。

情報



■ 製品情報

形名と製造番号が確認できます。

■ 入力信号

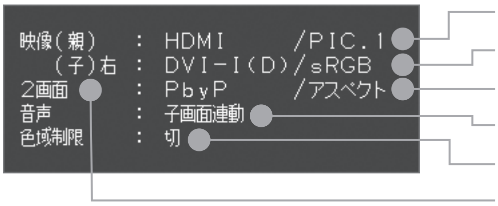
現在表示している入力チャンネルと信号情報が確認できます。

お知らせ

- 製造番号は本機の背面に貼り付けてある定格ラベルでも確認できます。

サブ OSD

現在の入力状態や 2 画面設定の一覧を画面左上に表示します。リモコンの「画面表示」ボタンを押すといつでも表示できます。



親画面入力／親画面映像モードを表示します。
子画面入力／子画面映像モードを表示します。
2 画面モード／サイズを表示します。
現在選択されている音声表示します。
色域制限の「入」「切」を表示します。
子画面の位置を表示します。

工場プリセットタイミング（PC 信号）

本機は下表に示す種類のタイミングの自動判別をおこない画面情報を設定しますので、コンピューターに接続すると、自動的に適切な画面を表示します。但し、コンピューターによっては画面にちらつきやにじみが生じることがあります。
また、入力信号によっては正しく表示できないこともあります。アナログ接続の場合は、自動調節 → P28 をおこなってください。

解像度	周波数		備考
	水平	垂直	
640 × 480	35.0 kHz	66.7 Hz	Macintosh
832 × 624	49.7 kHz	74.5 Hz	Macintosh
720 × 350	31.5 kHz	70.1 Hz	
720 × 400	31.5 kHz	70.1 Hz	
640 × 480	31.5 kHz	60.0 Hz	
640 × 480	37.9 kHz	72.8 Hz	
640 × 480	37.5 kHz	75.0 Hz	
800 × 600	35.2 kHz	56.3 Hz	
800 × 600	37.9 kHz	60.3 Hz	
800 × 600	48.1 kHz	72.2 Hz	
800 × 600	46.9 kHz	75.0 Hz	
1024 × 768	48.4 kHz	60.0 Hz	
1024 × 768	56.5 kHz	70.1 Hz	
1024 × 768	60.0 kHz	75.0 Hz	
1152 × 864	67.5 kHz	75.0 Hz	
1152 × 870	68.7 kHz	75.0 Hz	Macintosh
1280 × 960	74.7 kHz	74.7 Hz	Macintosh
1280 × 960	60.0 kHz	60.0 Hz	
1280 × 1024	64.0 kHz	60.0 Hz	
1280 × 1024	80.0 kHz	75.0 Hz	
1360 × 768	47.7 kHz	60.0 Hz	
1440 × 900	56.0 kHz	59.9 Hz	
1600 × 1200	75.0 kHz	60.0 Hz	
1680 × 1050	64.7 kHz	59.9 Hz	
1680 × 1050	65.3 kHz	60.0 Hz	
1920 × 1080	67.5 kHz	60.0 Hz	Mac Pro
1920 × 1200	74.0 kHz	60.0 Hz	（推奨タイミング：DVI-D、DVI-I、DisplayPort）
1920 × 1080	33.7 kHz	59.9 Hz	1080i
1920 × 1080	67.5 kHz	59.9 Hz	1080p（推奨タイミング：HDMI）
1280 × 720	45.0 kHz	59.9 Hz	720p
720 × 480	31.5 kHz	59.9 Hz	480p（DVI-I アナログは除く）

お知らせ

- 入力信号の識別は、水平周波数・垂直周波数・同期信号極性・同期信号タイプによりおこなっています。
- 上表に示す工場プリセットタイミング以外もタイミングを記憶できる機能があります（ユーザーメモリー機能）。
  記憶させたい信号を入力し、自動調節 → P28 するとタイミングおよび画面情報が自動的に記憶されます。
- 「オールリセット」を実行すると、すべてのユーザーメモリーに記憶された値が消去されます。
- 本機の周波数は水平周波数：31 ～ 92 kHz（デジタル入力）24 ～ 92 kHz（アナログ入力）、垂直周波数 49 ～ 86 Hz 対応となっていますが、この範囲内であっても入力信号によっては正しく表示できない場合があります。
  この場合は、コンピューターの周波数、または解像度を変更してください。
- 本機はコンピューターからのデジタル入力において、推奨タイミングの解像度を超える信号を選択できる場合がありますが、その信号を入力した場合は、正しく表示できないことがあります。
- 複合同期信号、シンクオングリーン信号には対応していません。
- 本機は解像度 1920 × 1200 以外の信号を入力した場合は、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。
- デジタル接続の場合は、工場プリセットタイミング信号のみを表示できます。

その他の機能について

ここでは、本機の OSD 機能以外の機能について説明しています。

画面選択機能

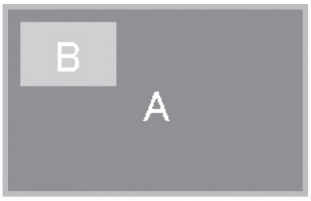
本機では 2 画面表示で親子画面を独立して別々の映像モードで表示できます。また親子で同じ映像モードに設定して「明るさ」や「色温度」などを個別に調節することができます。
これらの機能を使用して画像比較をしたいとき、リモコンの「画面選択」キーを使用すると便利です。「明るさ」などを調節したい画面を切り換えて選択することができます。

1 画面選択 **を押して画面を選択する**

→ 子 → 親 → 選択なし →

「画面選択」を押すと上のように選択が切り換わります。

それにあわせて選択された画面が枠で囲まれます。
親画面：黄色、子画面：赤色



PinP で親画面を選択している例

PbyP で子画面を選択している例

また OSD 画面の右上にも選択されている画面が表示されます。

親画面を選択している例

子画面を選択している例

お知らせ

- どちらも選択していない場合も OSD 画面には「親画面設定」が表示されます。

2 調節したい項目を選択して調節する

選択されている画面に対してリモコンで「明るさ」、「色温度」や「色かぶり」を調節したり、「映像モード」を切り換えたり、入力信号を直接切り換えできます。また OSD 画面を表示して各映像モードの各項目について調節することができます。

お知らせ

- どちらも選択されていない場合と親画面が選択されている場合は、親画面に対して設定されます。

3 調節した設定を他方の画面にコピーする

親または子画面の設定をそれぞれ子または親画面に設定をコピーします。
映像モードの「親（子）画面設定のコピー」で、本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀調節（−）」「▶調節（+）」ボタンで、「する」を選択し「決定」ボタンを押してください。

お知らせ

- 親画面または子画面が選択されている場合、コピーが可能です。
- 各映像モードは一組の映像設定のみ保存することができます。子画面表示時、映像モード内の各映像設定は親または子画面に対し独立して調節することはできますが、いずれかの設定を保存する場合には親または子画面の設定をコピーし、調節を終了してください。
- コピー元とコピー先の映像モードに下表のような制限があります。「×」の組み合わせでは灰色文字になり、コピーできません。

コピーされる画面（コピー先）の映像モード

コピーする画面（コピー元）の映像モード	sRGB	PIC.1 ～ 3	CG/TV.1 ～ 3	NATIVE	CAL.1 ～ 3
sRGB	×	×	×	×	×
PIC.1 ～ 3	×	○	×	×	×
CG/TV.1 ～ 3	×	×	○	×	×
NATIVE	×	×	×	×	×
CAL.1 ～ 3	×	×	×	×	○※

※ EASYCOLOR ! EXPERT2 でキャリブレーションされた CAL.1 ～ 3 に工場出荷値の CAL.1 ～ 3 の設定をコピーすることはできません。

色域制限機能

Web 閲覧など色管理がされていないアプリケーションを広色域パネルの本機で表示すると、色が不自然（赤や緑が強調される）に見える場合があります。本体の「戻る／色域制限」ボタンまたはリモコンの「色域制限」ボタンを押すと、色域の再現領域を sRGB、BT.709 相当に変換します。sRGB 空間相当を標準としている Web の閲覧や制作などをおこなう際に切り換えてください。

色域制限をしている場合、電源ランプが緑色から青色に変わり、また右上に右のような OSD 画面が常時表示され、色域が制限されていることをお知らせします。
OSD 画面を消したい場合は、本体の「メニュー／▼」ボタンまたはリモコンの「戻る」ボタンを押すと消えます。

お知らせ

- 映像モードによって変換される色域が異なります。

映像モード	出荷設定	色域制限時
sRGB	sRGB（固定）	sRGB（固定）
PIC.1 ～ 3	Adobe® RGB	sRGB
CG ／ TV1	BT.709	BT.709
TV2	NTSC	BT.709
TV3	DCI	BT.709
NATIVE	切（固定）	切（固定）
CAL.1 ～ 3	切	sRGB

- 「映像モード」の「CG/TV1」のように色域制限前後で同じ色域の場合は、色域制限しても映像に変化がありません。

機能（つづき）

拡大・スムージングファイン機能

1920 × 1200 より低い解像度の画面を自動的に拡大して表示する機能です。ギザギザ感の少ないなめらかな画像とカケの少ない文字を表示します。

お知らせ

- 入力信号によっては、画面全体に拡大されない場合があります。

簡易表示機能

本機が対応する解像度よりも高い解像度の信号が入力された場合に、自動的に画面を縮小表示する機能です。

お知らせ

- 入力信号によっては、本機能が正常に動作しない場合があります。

Plug&Play 機能

VESA の DDC（Display Data Channel）2B 規格に対応したコンピューターと接続した場合には、本機の表示画素数、周波数、色特性などの情報をコンピューターが読み出し、本機に適切な画面が自動的に設定されます。
詳しくはコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

ノータッチオートアジャスト機能（NTAA：No Touch Auto Adjust）

（800 × 600 以上の解像度のみ）

ユーザーメモリーに記憶されていない種類の信号が入力されると自動調節が実行されます。
入力された信号を本機のマイコンが検出し、左右方向の表示位置、上下方向の表示位置、水平サイズおよび位相の自動調節を開始します。自動調節中は「自動調節実行中」の文字が表示されます。

NTAA 実行中画面

お知らせ

- アナログ入力信号（DVI-I 入力）のみ有効です。

パワーマネージメント機能

コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。
パワーマネージメント機能が作動している場合の消費電力と電源ランプの点灯状態は以下のとおりです。

モード	消費電力	電源ランプ
標準	76 W	点灯
スリープモード時	1 W 以下（AC100 V、USB 機器未接続時）	点滅

お知らせ

- この機能は VESA DPM 対応パワーマネージメント機能を搭載しているコンピューターと接続して使用する場合にのみ機能します。
- 水平または垂直同期信号が OFF 状態になっているにもかかわらず、ビデオ信号（R, G, B）が出力されているようなコンピューターについては、パワーマネージメント機能が正常に作動しない場合があります。
- キーボードの適当なキーを押すかマウスを動かすと、画面が復帰します。
  画面が復帰しない場合は、信号ケーブルが外れているかコンピューターの電源が「切」になっていることが考えられますので、ご確認ください。
- スリープモード時、USB ハブ機能を使用している場合、接続されている USB 機器によって消費電力が増加します。

ディスプレイ情報記録機能

本機はトラブル発生時に接続端子や入力信号等の情報を本体に記録できるディスプレイ情報記録機能を搭載しています。修理受付の際にオペレーターがディスプレイ情報記録の取得操作をお願いする場合がございますので、ご了承ください。

【ディスプレイ情報記録の取得操作方法】

1. 電源コードが本体に差し込まれていることをご確認ください。
2. トラブル発生状態のままで、ディスプレイ本体のメニュー／▽ボタンを 10 秒間以上押し続けてください。
   取得動作が開始すると、電源ランプが点滅します。この状態で 15 秒程度お待ちください。
   電源ランプの点滅が止まると操作完了です。

お知らせ

- 電源ランプ点滅中は電源コードを抜かないでください。
- 正常に情報収集できない場合がありますので、故障時以外はディスプレイ情報記録の取得操作をおこなわないでください。
- 本機能はお客様の個人情報や表示映像の収集はおこないません。

困ったとき

故障かな？と思ったら

表示されないときは…　このようなときは、チェックしてください。

症　状	状　態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが点灯しない場合	電源スイッチが入っていない可能性がありますので、確認してください。	P12, 14
		電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P13, 21 23
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。	−
		電源コードをコンピューターの本体のコンセントに接続している場合は、コンピューターの電源を入れていない可能性があります。コンピューターの電源が入っているか確認してください。	−
		電源自動オフ機能により電源が自動的に切れていませんか？再び電源スイッチを「入」にして設定を確認してください。	P44
		電源ランプ明るさを 0%に設定していませんか？ その場合は、本体の「▶」またはリモコンの「▶調節（+）」ボタンで明るさを調節してください。	P43
	電源ランプが点灯している場合	本体の「メニュー／▼」またはリモコンの「メニュー」ボタンを押して OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P12, 14
		● 正常な状態で OSD 画面が表示された場合は「映像モード」の「明るさ」と「コントラスト」を調節してください	P34, 35
		● OSD 画面が正常に表示され、「明るさ」と「コントラスト」を調節してもコンピューターの画面が表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P17～21 46
		HDCP 対応の機器を接続し画面が映らない場合は、接続機器の電源を入れ直してください。	−
		OSD 画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P57
	電源ランプが点滅している場合	パワーマネージメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かしてください。	P49
		信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P17～21
		変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P17～19
		コンピューターの電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。	−
		入力選択があっていない可能性があります。 本体の「決定／入力切換」ボタンまたはリモコンの「入力切換」ボタンを押して入力切換をおこなってください。	P12, 14

表示されない／表示がおかしいときは…

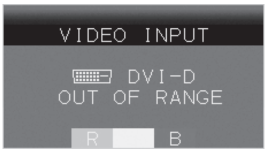
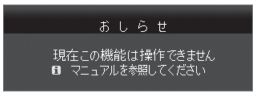
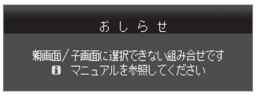
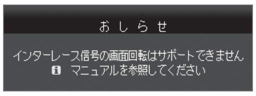
症　状	状　態	原因と対処	参照
突然、画面が表示しなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになったり、表示しなくなった場合	信号ケーブルの接続が外れていませんか？ 本体に接続されているすべてのケーブルを抜いて差し直してください。	P17～21
		新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。 ※ 液晶ディスプレイに使用しているLEDバックライトには寿命があります。	P57
	電源ランプが点灯しない場合	OSD画面の「電源ランプ明るさ」の調節ボリュームバーの設定が「0%」になっていませんか？	P43
		オフタイマーが設定されている可能性があります。再度電源を入れてください。	P44
		電源自動オフ機能により電源が自動的に切れていませんか？再び電源スイッチを「入」にして設定を確認してください。	P44
表示状態がおかしい	画面上に黒点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	–
	画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	–
	画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	–
	細かい模様を表示するとちらつきやモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	–
	線の太さなどがぼやける	1920 × 1200以外の解像度を表示すると、このような症状が生じることがありますが、故障ではありません。コンピューターの出力解像度を1920 × 1200に設定してください。 または、OSD画面により「シャープネス」を調節すると軽減できる場合があります。 アナログ接続の場合は、「自動調節」を実行すると軽減できる場合があります。	P28, 35 46
	表示エリア外の非表示部分に「残像」が生じる	表示エリアが画面いっぱいでない場合、長時間表示すると、このような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	–
	画面を見る角度によって色がおかしい	視野角（画面を見る角度）によっては、色あいの変化が大きくなります。本機の画面の角度を調節してください。	P24
	画面の表示状態が変わっていく	液晶パネルはLEDバックライトを使用しているため、使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態が影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	–
	画面を切り換えても前の画面の像が薄く残っている	長時間同じ静止画面を表示すると、このような「残像」という現象が起こることがあります。液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。 電源を切るか変化する画面を表示していれば、残像は徐々に薄れていきます。	P10, 61

表示されない／表示がおかしいときは…

症　状	状　態	原因と対処	参照
表示状態がおかしい	表示が縦長または表示が横長に伸びている	1920 × 1200 以外の解像度を表示すると、このような症状が生じることがありますが、故障ではありません。コンピューターの出力解像度を 1920 × 1200 に設定してください。 または、OSD 画面により「画面サイズ」を「アスペクト」または「リアル」に設定してください。	P38, 46
	OSD 画面の表示色がおかしくなったり、線の太さが変わったりする	色あい、色のこさなどを調節などの機能を「入」にするとOSD 画面表示状態に影響を与える場合があります。 映像処理の特性によるもので、故障ではありません。	－
	表示色がおかしい	本体の「メニュー／▼」またはリモコンの「メニュー」ボタンを押して OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P12, 14
		● 正常な状態で OSD 画面が表示された場合は「映像モード」の「色温度」を調節するか、「ツール」の「初期設定に戻す」で工場出荷設定に戻してください。	P34, 44
		● OSD 画面が正常に表示され、「映像モード」の「色温度」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P17～21 46
		● ケーブルの接続不良でも、発生する場合があります。接続状態を再確認してください。	P17～21
		● OSD 画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	－
	画面がちらつく（分配器を使用している場合）	分配器を中継させず、コンピューターと直接接続してください。	P17～19
	画面がちらつく（上記以外の場合）	本体の「メニュー／▼」またはリモコンの「メニュー」ボタンを押して OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P12, 14
		● 正常な状態で OSD 画面が表示された場合は「画面／サイズ」の「位相」を選択し、調節してください。	P37
		● OSD 画面が正常に表示され、「位相」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P17～21 46
		● 上下にちらつく場合は、コンピューターのリフレッシュレートを 60 Hz に設定してください。	－
		● OSD 画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	－

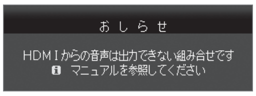
もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

おしらせ画面／注意画面が表示されたら…

症　状	状　態	原因と対処	参照
OSD の「注意画面」が表示される	画面に「映像入力信号がありません。」が表示された！※1 	信号ケーブルが本機またはコンピューターの信号入出力端子に正しく接続されていない可能性があります。 信号ケーブルを本機およびコンピューターの信号入出力端子に正しく接続してください。	P17～21
		信号ケーブルが断線している可能性があります。 信号ケーブルが断線していないか確認してください。	－
		コンピューターの電源が切れている可能性があります。 コンピューターの電源が入っているか確認してください。	－
		本機の AC100 V 電源が供給される前に、コンピューターの電源が入った可能性があります。 コンピューターの電源を一旦、切ってから再投入してください。	－
		コンピューターのパワーマネージメント機能が作動している可能性があります。 マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。	P49
		HDCP 対応の機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。数秒程度お待ちください。	－
	画面に「OUT OF RANGE」が表示された！※2 	本機が対応していない信号が入力されている可能性があります。本機に適切な信号が入力されているか確認してください。 コンピューター出力信号の解像度または垂直周波数（リフレッシュレート）を対応している信号に変更してください。	P46
		本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。 コンピューター出力信号の解像度を変更してください。	－
OSD 画面に「おしらせ画面」が表示される	画面に「現在この機能は操作できません」と表示された！ 	HDMI 入力の AV タイミング信号以外でリモコンの「オーバースキャン」ボタンを押した可能性があります。	P38
		HDMI 入力の SD 信号以外でリモコンの「アスペクト」ボタンを押した可能性があります。	P38
		子画面が表示されていないときに、リモコンの「子画面」-「入力切換」、「画面選択」、「サイズ」、「位置」、「親子切換」を押した可能性があります。	－
		映像モードが sRGB および NATIVE のときに、リモコンの「色かぶり補正」、「色温度」をボタンを押した可能性があります。	P33, 48
	画面に「親画面／子画面選択できない組み合せです」と表示された！ 	DVI-D と HDMI で 2 画面表示しようとした場合に表示されます。 DVI-D（または HDMI）のどちらかが親画面に表示されているときに、リモコンの「入力切換」で子画面に HDMI（または DVI-D）を選択した可能性があります。	P40
	画面に「インターレース信号の画面回転はサポートできません」と表示された！ 	インターレース信号を画面回転させると映像が乱れますので、サポート外となります。	P39, 61

※ 1 コンピューターによっては、解像度やリフレッシュレートを変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。
※ 2 コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

おしらせ画面／注意画面が表示されたら…

症　状	状　態	原因と対処	参照
OSD 画面に「おしらせ画面」が表示される	画面に「HDMI からの音声は出力できない組み合わせです」と表示された！  	映像に DVI-D が表示されている場合、または２画面表示で親か子画面に HDMI が表示されていない場合、HDMI から音声は出力できません。	P41

その他

症　状	状　態	原因と対処	参照
表示状態がおかしい	解像度や色数が変更できない／固定されてしまう	正しく信号が入出力できないことがまれにあります。本機とコンピューターの電源を一旦切り、もう一度電源を入れ直してください。	－
		Windows® をご使用の場合は、Windows® セットアップ情報のインストールが必要な可能性があります。Windows® セットアップ情報を当社ウェブサイトからダウンロードし、コンピューターにインストールしてください。	P27
		Windows® セットアップ情報をインストールしても設定の変更が不可能な場合、または Windows® 以外の OS をご使用の場合は、グラフィックボードのドライバーが OS に正しく認識されていない可能性があります。グラフィックボードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピューターの取扱説明書を参照いただくか、コンピューターのサポート機関にお問い合わせください。	－
音が出ない	スピーカーから音が出ない	音声ケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性があります。 正しく接続されているか確認してください。	P20
		ヘッドホンが接続されている場合、スピーカーからは音は出ません。 ヘッドホンを外してください。	P25
		スピーカー音量が最小になっている、または消音機能が「する」になっている可能性があります。リモコンの「消音」ボタンを押すか「スピーカー音量」OSD を調節するか、消音設定を「しない」に設定してください。 OSD 画面が表示されていないときは、本体の「▶」ボタンを押して音量調節 OSD 画面を直接呼び出すことができます。	P12, 14 41
		「音声／２画面」の「音声選択」で表示入力と違う入力が選ばれている可能性があります。 「音声／２画面」の「音声選択」を確認してください。	P41

その他

症　状	状　態	原因と対処	参照
AV 機器の映像が何も映らない	一部の AV 機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります	数秒（5 ～ 30 秒）お待ちください。 数秒待っても画面が表示されない場合は、下記の操作をおこなってください。 ● 本機の電源スイッチを切り、電源を入れ直してください。 ● 電源コードを含むすべてのケーブルを抜き、接続し直してください。 ● AV 機器側の電源を切り、電源を入れ直してください。	−
	画面に「映像入力信号がありません。」が表示された！ ※ 1 	入力選択があっていない可能性があります。 本体の「決定／入力切換」ボタンまたはリモコンの「入力切換」ボタンを押して映像入力を切り換えてください。	P12, 14
リモコンで調節や設定ができない	乾電池が消耗している	リモコンの乾電池が消耗している可能性があります。 新しい乾電池と交換してください。	P15
	リモコンの赤外線が受光できない	リモコンの赤外線が届かない場所で操作している可能性があります。 画面に近づくか、より真正面に近い角度から操作してください。	P15
		リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できない場合があります。 障害物を取り除いてください。	P15
		リモコン送信部または本機の受光部が汚れている可能性があります。 汚れを拭き取ってください。	−
	乾電池の極性を間違って入れている	リモコンの乾電池の ⊖ ⊕ が逆に入っている可能性があります。 乾電池の向きを確認してください。	P15
USB 対応周辺機器が動作しない	接続している USB 対応周辺機器が正常に動作しない	USB 対応周辺機器のデバイスドライバーが正常に組み込まれていない可能性があります。 デバイスマネージャーで「不明なデバイス」と表示される場合は、「不明なデバイス」を削除し、デバイスドライバーをコンピューターにインストールしてください。	USB 対応周辺機器の取扱説明書を参照してください。
	複数台の USB 接続周辺機器を接続すると USB 接続周辺機器正常に動作しない	USB 対応周辺機器が同時に複数台接続することに対応していない可能性があります。 1 つ 1 つの USB 対応周辺機器を単独で動作させてください。	
	USB ハブを多段接続した後に USB 接続周辺機器を接続すると USB 接続周辺機器が正常に動作しない	USB 対応周辺機器が USB ハブの多段接続に対応していない可能性があります。 USB 対応周辺機器をコンピューターに近い USB ハブに接続してください。	

本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報）

当社の使用済みディスプレイのリサイクルシステムの詳細については下記の当社ウェブサイトをご覧ください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/environment

なお、資源有効利用促進法に基づく当社の使用済みディスプレイのリサイクルのお問い合わせは下記へお願いします。

情報機器リサイクルセンター	
家庭系（個人ユーザー様）の窓口	事業系（法人ユーザー様）の窓口
フリーダイヤル 0120-345-989 www.pc-eco.jp	TEL 0467-46-5716 www.diarcs.com
受付時間　土・日・祝日を除く　午前 9:00 ～午後 5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

ディスプレイの回収・リサイクル

資源有効利用促進法に基づき、家庭から出される使用済みディスプレイの回収・リサイクルをおこなう“PC リサイクル”が 2003 年 10 月より開始されました。当社ではこれを受け、回収・リサイクル体制を構築し、2003 年 10 月 1 日より受付しております。2003 年 10 月以降購入されたディスプレイのうち、銘板に“PC リサイクル”が表示されている製品は、ご家庭からの排出時、当社所定の手続きにより新たな料金負担なしで回収・リサイクルいたします。事業者から排出される場合は、産業廃棄物の扱いとなります。

個人で、ご購入いただいたお客様の PC リサイクルシール申込

“PC リサイクルマーク”の表示が無い三菱ディスプレイでも、下記のリサイクル窓口ウェブサイトより、お申し込みいただければ“PC リサイクルシール”を無償でお送りいたします。

リサイクル窓口ウェブサイト：	ご注意：
www.pc-eco.jp 画面の PCリサイクルマーク申込 からお入りください。	法人（事業者）のお客様で、ご購入いただいた三菱ディスプレイは、PC リサイクルマーク対象外です。シールが貼付けられていても、廃棄時は産業廃棄物としての扱いとなります。

保証とアフターサービス

- この製品には保証書を添付しています。
  保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
  内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。
  修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。
  日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。またこの製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。
  This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.

お客様相談窓口（携帯電話·PHS 通話可／ IP 電話不可）	修理相談窓口（携帯電話・PHS 通話可／ IP 電話不可）
フリーダイヤル 0120-71-3322	フリーダイヤル 0120-08-1460
受付時間　土・日・祝日を除く　午前 9:00 ～ 12:00　午後 1:00 ～ 5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

アフターサービスを依頼される場合は、次の内容をご連絡ください。

- **お名前**
- **ご住所（付近の目標など）**
- **電話番号**
- **品名：三菱ワイド液晶ディスプレイ**
- **形名：RDT242WH(GY)**
- **製造番号（本機背面のラベルに記載）**
- **故障の症状、状況など（できるだけ詳しく）**
- **使用状況**
  （PC およびグラフィックボード（メーカー、形名）、解像度、入力信号（アナログ、デジタル）など）
- **購入年月日または使用年数**

- 無料出張サービス規定
  この製品をお買い上げから 1 年間は「修理相談窓口」にてディスプレイに起因する障害で修理が必要と判断された場合、無料出張サービスを適用します。その際、同梱の保証書の提示をお願いします。提示がない場合は、保証期間中でも有料となります。出張サービスは、日本国内のみ対応します。代替セット（現品とは異なる場合があります。）を無料でお貸しし、現品の持ち帰り修理になります。一部の地域で宅配業者の引き取りサービスになる場合があります。

個人情報の取り扱い

- お問い合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
  三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
  1. お問い合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
  2. 上記利用目的のために、お問い合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
  3. あらかじめお客様からご了承をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
     ① 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
     ② 法令等の定める規定に基づく場合。
  4. 個人情報に関するご相談は、お問い合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

付録

市販のアームを取り付けるとき

本機には VESA 規格に準拠した（100 mm ピッチ）市販のアームを取り付けることができます。

お 願 い

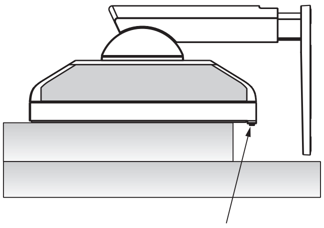
- アームは本機を支えるのに十分なものを選んでください。（本機のディスプレイ部の質量は約 5.6 kg です。）
- 作業の際、コントロールボタン類をテーブルなどにあてないように注意してください。

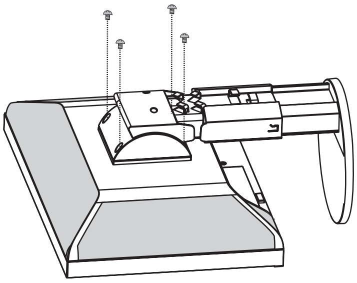
お知らせ

- 本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満足しております。

■アームを取り付ける際は、下記要領で取り付けてください。

1 本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってから、信号ケーブル、電源コードを取り外す
その後、スタンドを固定している 4 本のネジを外してスタンドを取り外す





お 願 い

- 作業は、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、本体のディスプレイ部を傷付けないように下向きに置いておこなってください。
- スタンドを取り付ける場合は、逆の手順でおこないます。
その際は必ずスタンド取り付けに使用していたネジを使ってください。
仕様の異なるネジを使用されると本機が故障する原因になる恐れがあります。
- ネジを締め付ける際は付け忘れに注意し、すべてのネジをしっかりと締め付けてください。
なお、スタンドの取り付けはお客様の責任においておこなうものとし、万一事故が発生した場合、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

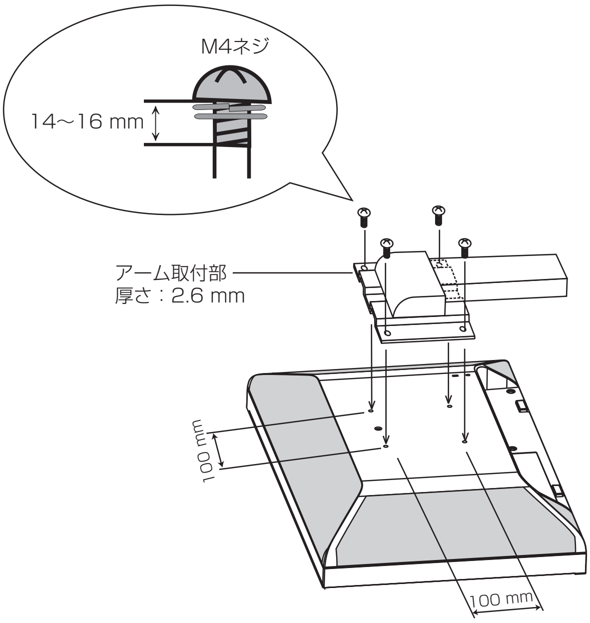
⚠注意

- **スタンドの取り付け、取り外しの際は必ず手でスタンドを持ってください。スタンドが落下して、けがの原因になります。**

2 右記のようにアームを取り付ける

取付可能アーム：
　取付部厚み　2.6 mm
　VESA 規格準拠　100 mm ピッチ

ネジゆるみ防止のため、すべてのネジをしっかりと締めてください。
（但し、締め付けすぎるとネジがこわれることがあります。98 ～ 137 N·cm が適切な締付トルクです。）



※ 上記アームの取付部形状は参考例です。

市販のアームを取り付けるとき（つづき）

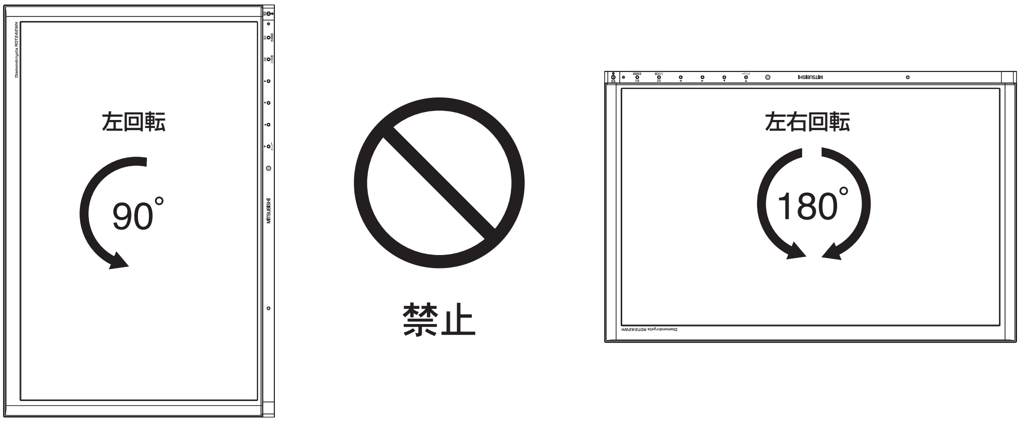
⚠注意

落下防止のために

- 液晶ディスプレイを倒したまま固定できないときは、2 人以上で取り付け作業をおこなってください。
  落下してけがの原因になります。
- 取り付け作業をおこなう前に、アームの取扱説明書を必ず読んでください。
  また、地震などでの製品の落下によるけがなどの危害を軽減するために、設置場所などは必ずアームメーカーへご相談願います。
  万一、地震などで落下の恐れがある場所での就寝はしないでください。
- アームの取り付けはお客様の責任においておこなってください。
  万一事故が発生した場合でも、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

火災や感電防止のために

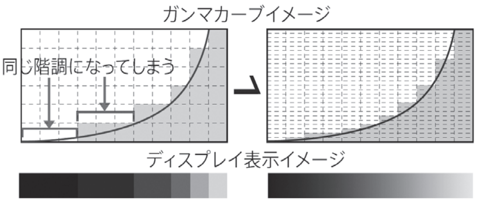
- アームを取り付ける際は、必ず下記に示すネジを使ってください。
  それ以外のネジを使用した場合は、本機が故障したり火災や感電の原因になる恐れがあります。
  緩み止めスプリングワッシャ付き鉄製 M4 ネジ（長さ 14 ～ 16 mm）
- アームを取り付けてご使用される場合でも、90° 左回転や 180° 回転した状態でご使用しないでください。
  内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。



用語解説

ここでは、本書で使用している専門的な用語の簡単な解説をまとめてあります。また、その用語が主に使用されているページを掲載しておりますので、用語から操作に関する説明をお探しいただけます。

14 ビットガンマ機能 P3
RGB 各色 1024 階調の映像信号（10 bit 信号入力時）を、14 ビットに多階調化した LUT（Look Up Table）で補正。これにより､約４兆 3475 億万色のパレットからガンマカーブに適した約 10 億 7374 万色を表示します。階調飛びを抑えて、なめらかなグラデーションを得ることができます。



14 ビットガンマ補正なしの場合　14 ビットガンマ補正ありの場合

Adobe® RGB 規格 P3、34
アドビシステム社が定義した色空間規格のひとつです。sRGB よりも広い色空間（特に緑色）を持っています。最近のデジタル一眼カメラでは Adobe® RGB の色空間に対応したデータで保存できる機種が多く、その広い色空間を表現するには Adobe® RGB 対応のディスプレイが必要です。

BT.709 P3、34
国際電気通信連合 (ITU) が策定した高精細度テレビジョン (HDTV) の国際規格です。

DCI P34
米国ハリウッドの映画制作会社で構成される標準化団体です。デジタルシネマ映像や上映機器に関する標準仕様を策定します。

DDC 2B 規格 (Display Data Channel) P49
VESA が提唱する、ディスプレイとコンピューターとの双方向通信によってコンピューターからディスプレイの各種調節機能を制御する規格です。

DDC/CI 規格 P43
(Display Data Channel Command Interface)
ディスプレイとコンピューターの間で、設定情報などを双方向でやり取りできる国際規格です。

DisplayPort 端子 P13、17 ～ 19
VESA によって策定された DVI 端子の後継で、デジタル映像信号インターフェイスの規格です。

DPM (Display Power Management) P49
VESA が提唱する、ディスプレイの省エネルギー化に関する規格です。DPM では、ディスプレイの消費電力状態をコンピューターからの信号により制御します。

DVI-A 端子 (Digital Visual Interface-Analog) P17 ～ 19
アナログ入力のみに対応している DVI 端子です。

DVI-D 端子 (Digital Visual Interface-Digital) P17 ～ 19
デジタル入力のみに対応している DVI 端子です。

DVI-I 端子 (Digital Visual Interface-Integrated) P17 ～ 19
デジタル入力とアナログ入力の両方に対応している DVI 端子です。接続するケーブルあるいは変換アダプターによって入力の使い分けが可能となります。

GTG (Gray to Gray) P62
表示画面を変化させたときに、画面が切り換わる早さ（追従性）を応答速度といい、数値が小さいほど、高速応答となります。白→黒→白または黒→白→黒の階調変化に要する時間の合計で表す場合が一般的ですが、動画表示には中間階調での変化に要する時間が短いことが要求されてきました。これを応答速度（GTG）と表します。

HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection System) P62
デジタル映像信号を暗号化する著作権保護システムです。HDCP に対応した AV 機器を接続することにより、HDCP で保護された映像コンテンツを視聴することができます。

HDMI (High-Definition Multimedia Interface) P17 ～ 20
DVD レコーダー／プレーヤーなどと接続できる AV 用のデジタルインターフェイスです。コンポーネント映像信号と音声信号、制御信号を 1 本のケーブルで接続できます。

NTSC P34
全米テレビジョン放送方式標準化委員会が策定したテレビの放送規格です。日本のアナログ放送規格にも採用されていました。

Plug&Play P49
Windows® で提唱されている規格です。ディスプレイをはじめとした各周辺機器をコンピューターに接続するだけで設定をせずにそのまま使えるようにした規格のことです。

sRGB 規格 P3、34
IEC（International Electrotechnical Commission）により規定された色再現国際規格です。sRGB 対応のディスプレイなら、ネットワーク上でどのディスプレイでも色調を揃えることができる規格で、対応プリンター、スキャナー、デジタルカメラなどとの色合わせもしやすくなります。

Thunderbolt 端子 P19
コンピューターと周辺機器を接続するためのインターフェースのひとつで、ディスプレイと接続して映像を出力することもできます。端子の形状は Mini Displayport を採用しています。

USB (Universal Serial Bus) P3、13、21
コンピューターと周辺機器（マウスやジョイスティック、プリンターなど）を接続するためのインターフェイスの規格です。

VESA 規格 (Video Electronics Standards Association) P49
ビデオとマルチメディアに関連する標準の確立を目的として提唱された規格です。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

用語解説（つづき）

位相 P37
アナログ映像信号の A/D 変換用サンプリングクロックの位相調節機能です。これを調節することにより、文字のにじみや横方向のノイズをなくしたりすることができます。

色温度 P34
白の色味を数値化したもの (単位 K：ケルビン) です。色温度が高いと青っぽく、低いと赤っぽく見えます。一般的な蛍光灯の昼白色で約 5000K、昼光色で約 6500K です。

インターレース P53
1 つの画面（フレーム）を 1 ラインおきに走査して表示する方式です。テレビのような動きのある画面を表示するときはこの方式を使用できますが、静止画を表示するには画面のちらつきが目立ち不向きです。そのため、コンピューターのディスプレイでは、ほとんどのものがプログレッシブ方式を採用し、静止画のちらつきを抑えています。

応答速度 P62
表示している画面を変化させたときの画面の切り替わりの速さ（追従性）のことで、数値が小さいほど応答速度は速くなります。

オーバースキャン P38
ディスプレイの表示画面において、入力有効画像の外周部を表示画面からはみ出した状態にすることです。（はみ出した部分は、画面には表示されません。）
通常のテレビは、オーバースキャンの状態で調節されています。

ガンマ P3、34
入力信号と画面に表示される輝度の関係で、単純な比例関係にはなりません。階調特性に影響し、標準的にガンマ 2.2 がよく使用されます。

残像 P10、51
残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが故障ではありません。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることを推奨します。

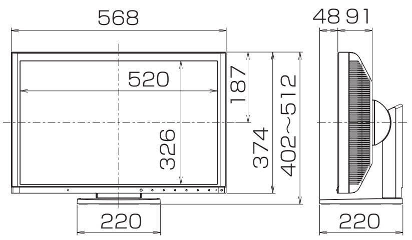
色域 P3、34
ディスプレイやプリンターなどの機器が実際に再現できる色の範囲です。ディスプレイの場合、赤、緑、青の三色で色を表現するため、再現できる色の範囲は三角形となります。

水平周波数／垂直周波数（リフレッシュレート） P46、62
水平周波数：1 秒間に表示される走査線の数のことで、水平周波数 31.5 kHz の場合、1 秒間に走査線を 31,500 回表示するということです。
垂直周波数（リフレッシュレート）：1 秒間に画面を何回書き換えているかを表します。垂直周波数が、60 Hz の場合、1 秒間に画面を 60 回書き換えているということです。

チルト角度／スイーベル角度 P24、62
チルト角度：ディスプレイ画面を上向きや下向きに動かせる角度のことです。
スイーベル角度：ディスプレイ画面の水平方向の回転角度のことです。

プログレッシブ P61
1 つの画面（フレーム）を 1 回の走査で表示する方式です。上から順に走査し全画素を表示していく方式で、順次走査方式とも呼ばれます。インターレース方式に比べ、画面のちらつき感の少ない、きれいな映像を見ることができます。ノンインターレースとも呼ばれます。

仕様

形名			RDT242WH(GY)
外形寸法（mm）			
液晶パネル	サイズ（表示サイズ）		24.1 型（61.1 cm）
	液晶方式		ノングレア（反射防止）
	有効表示領域		518.4 x 324.0 mm
	表示画素数		1920 x 1200（WUXGA）
	画素ピッチ		0.270 mm（RGB ストライプ）
	表示色		約 10 億 7374 万色（約 4 兆 3859 万色中、DisplayPort 10 bit 入力時）
	視野角		左右 178°、上下 178°（コントラスト比 10）
	輝度（標準値）		70 ～ 350 cd/m^2（ムラ補正 OFF 時）
	コントラスト比		1000：1
	応答速度		7 ms（GTG）*1
	バックライト		広色域対応 LED
PC 入力 *2	水平周波数		31 ～ 92 kHz（デジタル入力）、24 ～ 92 kHz（アナログ入力）
	垂直周波数		49 ～ 86 Hz
	ビデオ信号		デジタル RGB、アナログ RGB
	同期信号		デジタル入力：TMDS アナログ入力：セパレート同期信号（TTL）
	信号入力コネクター		デジタル入力：DVI-D（HDCP 対応 *3）、DVI-I（HDCP 対応 *3）、HDMI、DisplayPort アナログ入力：DVI-I
ビデオ入力 *4	解像度		480i、480p、1080i、720p、1080p
	信号入力コネクター（HDMI は PC 入力コネクターと共用）		デジタル入力：HDMI
音声入出力	入力コネクター		φ 3.5 mm ステレオミニジャック
	スピーカー		2 W ＋ 2 W（ステレオ）
	ヘッドホン		φ 3.5 mm ステレオミニジャック
適合法規格等	安全		電気用品安全法、S-TÜV
	不要輻射		VCCI-B、低周波電磁界ガイドライン、家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン
	エルゴノミクス		ISO13406-2（準拠）
	プラグ＆プレイ		VESA DDC2B
	その他		PC グリーンラベル（★★☆ V12）、J-Moss グリーンマーク、DDC/CI、Windows® 8
使用環境条件	温度		5 ～ 35℃
	湿度		30 ～ 80%（結露の無いこと）
電源	電源入力		AC100-240V、50/60 Hz
	消費電力	標準	76 W
		通常時 *5	36 W
		省エネモード	スリープモード時：1 W 以下（AC100 V、USB 機器未接続時） オフモード時：　1 W 以下（AC100 V 時）
	電源入力コネクター		3P　IEC タイプ
質量	ディスプレイ本体	スタンド含む	約 8.2 kg
		スタンドなし	約 5.6 kg
キャビネット色			グレー
梱包状態（質量／寸法）			約 12.0 kg ／ 644(W) x 498(H) x 302(D) mm
チルト角度／スイーベル角度／高さ調節／縦型表示			上 30°、下 5°／ 340°／約 110　mm ／右回転 90°

お知らせ

- 本仕様は予告無く変更される場合があります。
- 本機は、解像度 1920 × 1200 以外の信号を入力した場合、信号によって文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。
- 本機の有効ドットの割合は、99.9995%以上です。
- 付属の電源コードは、国内 100V 商用電源対応品です。
- 本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満足しております。

*1「オーバードライブ：入」時、特定階調レベル間（例：31, 63, 95, 127, 159, 191, 223）の各応答速度の平均値です。
*2 DVI-I は PC 入力コネクターのデジタル、アナログ共用です。
*3 Macintosh での HDCP 対応は非サポートです。
*4 安定した表示ができない場合や非表示領域に不要な線が見える場合があります。
*5 画面全体に対する面積比 80%、輝度 120 cd/m^2 の白ウィンドウ画面時の消費電力、音量設定：最小、外部機器非接続時（当社独自の測定結果による）。

さくいん

英数字

2 画面設定 ...40
DDC 2B 規格 ...49,60
DDC/CI ...43
DDC/CI 規格 ...60
DisplayPort 入力端子 ...13
DPM ...49,60
DVI-A 端子 ...17 ~ 19,60
DVI-D － DVI-D ケーブル ...4,17 ~ 19
DVI-D 端子 ...13,17 ~ 19,60
DVI-I 端子 ...13,17 ~ 19,60
EASYCOLOR ! EXPERT2 ...4,29
EDID 切換 ...43
GTG ...60,62
HDCP ...60,62
HDMI 端子 ...13,17 ~ 20,60
LANGUAGE ...42
LED バックライト ...51,62
Macintosh ...5,46
NTAA（No Touch Auto Adjust）...49
OSD 画面の構成 ...30
OSD 機能一覧 ...33 ~ 45
OSD 垂直位置 ...42
OSD 水平位置 ...42
OSD 操作ロック ...42
OSD の基本操作 ...31
OSD 表示時間 ...42
OUT OF RANGE ...53
PbyP 位置 ...41
PbyP サイズ ...41
PinP 位置 ...40
PinP サイズ ...40
Plug & Play ...49,60
RGB オフセット ...34
RGB ゲイン ...34
sRGB 規格 ...3,33,60
USB 切換 ...43
USB ハブ ...3,13,55
VESA 規格 ...49,58,60
Windows® セットアップ情報 ...27
▲、◀、▼、▶ボタン ...12,14

あ

アース線 ...6,23
明るさ ...34
アスペクト比 ...38
アナログ（黒レベル）...37
アナログ（白レベル）...37
アナログ信号入力端子 ...13
アフターサービス ...57
安全のために必ずお守りください ...6 ~ 9
位相 ...37,61
色あい ...34,36
色温度 ...34
色かぶり補正 ...34
色のこさ ...35,36
映像入力信号がありません。...53,55
映像モード ...33
オーバースキャン ...38,61
応答速度 ...61,62
お客様相談窓口 ...57
オフタイマー ...44
親（子）画面設定のコピー ...35
音声／2 画面 ...40
音声／2 画面　リセット ...41
音声ケーブル ...4,20
音声選択 ...41
音声入力端子 ...13,20
音量 ...14,41

か

外形寸法 ...62
回収 ...56
解像度 ...46,62
解像度切換 ...37
拡大・スムージングファイン機能 ...49
角度を調節する ...24
各部のはたらき ...12 ~ 15
画素ピッチ ...62
画面／サイズ ...37
画面／サイズ　リセット ...39
画面回転（親画面）...39
画面回転（子画面）...39
画面サイズ ...38
画面に何も映らない ...50
画面の位置を調節する ...24
カラーセンサー ...12,26
簡易表示機能 ...49
かんたんセットアップ！...26
ガンマ ...3,34,60
機能 ...30 ~ 49
輝度 ...61,62
キャリブレーション（CAL.1 ~ 3）リセット ...36
キャリブレーション（Native、CAL.1 ~ 3）リセット ...35
グループアイコン ...30
グループの構成 ...32
黒白伸張 ...35
黒レベル ...34
ケーブルカバー ...13
決定／入力切換ボタン ...12
言語 ...42
高音 ...41
工場プリセットタイミング（PC 信号）...46
子画面入力切換 ...40
黒点／輝点 ...51
ご使用の前に ...3 ~ 5
故障かな？と思ったら ...50 ~ 55
個人情報の取り扱い ...57
困ったとき ...50 ~ 57
コントラスト ...35
コントラスト比 ...62

さ

サイドカラー ...44
残像 ...10,51,61
色域設定 ...34
質量 ...62
自動明るさ調節 ...35
自動調節 ...28,37
市販のアームの取り付けるとき ...58
視野角 ...51,62
シャープネス ...35,36
修理相談窓口 ...57
仕様 ...62
使用環境条件 ...62
使用上のお願い ...10,11
使用の準備 ...16 ~ 29
消音 ...14,41
情報 ...45
消費電力 ...49,62
初期設定に戻す ...44
シンク設定 ...43
信号ケーブル ...4,17 ~ 21
信号ケーブルを接続する ...17 ~ 21
信号入力端子 ...13,19,62
推奨タイミング ...46
垂直位置 ...37
垂直周波数（リフレッシュレート）...46,61,62
水平位置 ...37
水平周波数 ...46,61,62
スキャン率 ...38
スタンド ...3,58,62
スピーカー音量 ...41
スピーカーから音が出ない ...54
スリープモード ...49,62
静止画モード（sRGB、PIC.1 ~ 3）リセット ...35
製品情報 ...45
接続 ...17 ~ 25
接続端子と信号ケーブル対応表 ...19
設置する ...23

た

ターゲット情報 ...36
高さを調節する ...24
縦型表示にする ...24
ちらつく ...51,52
チルト角度 ...24,61,62
ツール ...42
低音 ...41
ディスプレイ情報記録機能 ...49
ディテールエンハンサ ...35,36
適合法規格等 ...62
デジタル信号入力端子 ...13
電源コード ...4,21,23
電源自動オフ ...44
電源スイッチ ...12
電源電圧 ...23,62
電源入力コネクター ...13,21,62
電源プラグ ...23
電源ボタン ...14
電源容量 ...21
電源ランプ ...12,49,50,51
電源ランプ明るさ ...43
電源を入れる ...12
動画モード（CG、TV.1 ~ 3）リセット ...35
同期信号 ...46,49,62
盗難防止用ロック穴 ...13

な

内蔵ステレオスピーカー ...13
入力切換ボタン ...14
入力信号 ...45
ノータッチオートアジャスト機能 ...49

は

廃棄する ...56
バックライト ...51,62
バランス ...41
パワーマネージメント機能 ...49
ビデオ信号 ...62
表示色 ...52,62
表示画素数 ...62
表示されない ...50 ~ 52
表示状態がおかしい ...51 ~ 54
付属品 ...4
付録 ...58 ~ 63
ブラックオフセット ...35
プリセットガンマ ...34
プログレッシブ ...61
ヘッドホン音量 ...41
ヘッドホン端子 ...13,25
ヘッドホンを接続する ...25
変換アダプター ...17 ~ 19
保証書 ...4,57
保証とアフターサービス ...57
ホットキー ...12,43
本体正面 ...12
本体背面／側面 ...13

ま

ムラ補正 ...42
メニュー／▼ボタン ...12
戻る／色域制限ボタン ...12

や

ユーザーメモリー機能 ...46,49
ユーティリティーディスク ...4
有効表示領域 ...62
用語解説 ...60,61
横型表示にする ...24

ら

リサイクル ...56
リモコン ...14,15
リモコン受光部 ...12
ロックの解除 ...42
ロックの設定 ...42

三菱電機株式会社
京都製作所　〒617-8550　京都府長岡京市馬場図所1番地

AW-P1347A